

COMPACT UP SCALER UNIT FRAMEMEISTER

XRGB-mini

取扱説明書

第4版

はじめに

この度は「FRAMEMEISTER（フレームマイスター）」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本書には、本機を正しくご使用いただくための接続方法や操作方法が書かれておりますので、ご使用になる前によくお読みください。

—【DVI 端子で表示装置に接続のお客様へ】—

出力モードは正しく設定してください

本機で正しい表示を行うために、必ず「出力モード」を正しく設定してください。「出力モード」は本体のスクリーン・メニュー、またはリモコンの「出力モード（HDMI ボタンまたは DVI ボタン）」で設定できます。

表示装置の HDMI 端子に接続時 → 出力モードを「HDMI」にする。

表示装置の DVI 端子に接続時 → 出力モードを「DVI」にする。

※工場出荷時の出力モード設定は「HDMI」です。

これらの設定を間違えると、映像の色がおかしくなったり、画面が乱れる、表示されない、などの症状が発生します。なお、出力モード設定後は、出力解像度（下記）も設定して下さい。

—【本機からの出力解像度は表示装置に合わせましょう】—

本機の出力解像度は、出荷時にはできるだけ多くの表示装置（テレビやディスプレイ）で表示が可能な様に解像度が低めに設定されています。しかし、この解像度をご利用の表示装置に最適な解像度とは限りません。このため「出力モード（スクリーン・メニューの [HDMI 出力モード]、または [DVI 出力モード] の解像度設定)」を、最適な設定に変更して下さい。

もくじ

ページ

もくじ	2～3
使用上のご注意と警告・禁止事項（重要）	4～7
ACアダプターに関する注意事項	7
正しい設置方法	8
その他ご注意いただきたいこと	8
絶対にしてはいけないこと	9
業務や設備で使用される方へ	9
保証に関して	10
保守期間とお問い合わせに関して	10
フレームマイスターとは	11
縦置きスタンドの利用方法	12
本書での HDMI 規格の表記にご注意ください	12
同梱品一覧	13
接続に必要な物	14
本機に接続できる機器	15
対応できない、または動作保証できない機器や信号	16
本機の HDMI 入力端子に機器を接続されるお客様へ	17
HDMI 入力端子を持つ表示装置のアスペクトに関して	17
DVI 入力端子付きの表示装置を接続されるお客様へ	17
DVI 入力端子付きのブラウン管ディスプレイに関して	17
FRAMEMEISTER の各部名称と解説	18～22
接続の前に	23
各機器との接続と表示	24～25
スクリーン・メニューとその機能	26～47
●メインメニュー	28
●出力モード	28
●HDMI 出力モード	29
●DVI 出力モード	29
●画質モード	30～31
●アスペクト	32

ページ

●スクリーン	32 ~ 34
●画質調整	35
●画面調整	36 ~ 37
●ZOOM 設定	38
●同期設定	38 ~ 39
●HDMI 設定	40 ~ 42
●音声設定	42
●オプション	43
●SPECIAL	44 ~ 47
●A/D 設定	44
●SCANLINE	44 ~ 45
●CELLOPHANE	45
●DIVIDE_MODE	46
●特殊表示位置	46
●CLASSIC_MODE	46
●REVERSAL	47
●DATA	47
●STATUS	47
リモコンの機能と操作	48 ~ 53
はじめてリモコンを使用するとき	53
接続の際の制限事項 (知っておきたいこと)	54 ~ 63
ファームウェアのアップデートに関して	63
仕様	64 ~ 67
●本体仕様	64 ~ 65
●対応入力解像度	66
●対応出力解像度	66
●リモコン仕様	67
トラブルとQ & A	68 ~ 74
修理ご依頼時の送付・梱包に関して	75

使用上のご注意と警告・禁止事項（重要）

本機は精密な電子機器です。お取り扱い時には、次のことにご注意ください。以後に記されている「本機」とは、製品本体、ACアダプター等を含む製品のことでです。

【警告：煙が出たら】

使用中に、本機から煙が出たり、異臭がするときは、ただちに使用を中止し、「マイコンソフト株式会社 ユーザー・サポート係」までご連絡ください。そのままご使用になりますと火災や感電の原因となりますのでご注意ください。

【警告：本体やACアダプターを振ると大きな音がする時】

製品の品質には万全を期しておりますが、本体を振って、部品が外れているような大きな音がする場合は、すぐに使用を中止し弊社へご連絡ください。

【禁止：ぬれた手でさわらない】

本機をさわる際、ぬれた手で触れないでください。
ぬれた手で触ると、感電の恐れがあり、たいへん危険です。

【禁止：家具や暖房器具などに注意】

本機やケーブルの上に物が乗った状態で使用しないでください。
また、ストーブやエアコンなどの発熱する機器の側で設置・使用しないでください。

【設置環境に注意】

本機の上や下に布を置いたり、テレビの上やAVラックの中に設置するなど、熱のこもりやすい状態で使用しないでください。

【警告：お子様に注意】

本機をお子様のおられる場所で使用したり、設置しないでください。
また、お子様の触れない場所に本機（付属品を含む）を保管してください。特に、「電源ケーブル」や「乾電池」の取り扱いには十分お気をつけください。小さなお子様が居る場所では特に注意が必要です。

【注意：発熱注意】

本機を長時間使用すると、本体や AC アダプターが高温になることがあります。お手を触れる際には十分ご注意ください。

特に、端子などの金属部が熱くなることがあります。

【禁止：分解・改造禁止】

分解・改造は絶対にしないでください。分解・改造後の保証・修理はいたしません。分解・改造によって人体に甚大な被害を被ったり、怪我・感電・発火に至ることがあります。

【禁止：直射日光】

本機を直射日光の当たる場所に置かないでください。製品寿命の低下、動作不良、ケースが変形・変色するなどの症状が発生する恐れがあります。

【禁止：衝撃禁止】

本機は精密機器です。使用中や輸送時に強い衝撃を与えたり、ケーブルを引っ張るなど激しい取り扱いはしないでください。AC アダプターなどの付属品も同様です。

【禁止：屋外設置は禁止】

本機は、室内での使用を前提として設計されています。このため、屋外など過酷な条件や、極端な温度・湿度条件下で使用した際の動作は保証できません。

【注意：ホコリ・油煙には注意】

本機を、ホコリの多い場所や油煙のある場所では使用しないでください。故障や漏電、発火の恐れがあります。

【禁止：異物挿入禁止】

本機の穴などから、異物を入れないでください。また、間違っって異物が入ってしまった場合は弊社へお問い合わせください。

【注意：雷注意】

雷が光り出したら、AC アダプターをコンセントから取り外してください。雷の電気が、電源コンセントを伝って、本機に流れ込むことがあります。感電の恐れがあります。なお、本機の操作中または AC アダプターの脱着中に、天災（例えば落雷）によって受けた損害・被害は弊社は保証いたしません。

【禁止：ケーブルを持って引っ張らない】

ケーブルを取り外すときなどに、コードを引っ張らないでください。

ケーブルの抜き差しは、必ず本体を手でしっかり固定し、ケーブルのコネクタ部（樹脂部）を持って行ってください。

※端子の金属部分には電気や信号が流れており、感電する恐れがあるため触れないでください。

【禁止：水場で使用禁止】

本機を、水を多く使う場所（お風呂や洗面所、キッチンなど）では絶対にご使用にならないでください。本機に水がかかったり、製品内部に水が侵入すると、漏電、感電、火災、故障の原因となります。

本機は防水処理されておりません。

【禁止：AC100V 以外は禁止】

本機は専用の AC アダプターを AC100V（50/60Hz）の電源コンセントに接続して使用します。AC100V 以外の電源コンセントには絶対に接続しないでください。AC100V 以外の地域（日本以外の地域）で使用する可能性がある場合は注意が必要です。

【注意：ケーブルを接続する時は電源オフまたはスタンバイにする】

ケーブルの脱着は、必ず接続している全ての機器の電源を「オフ（切）」、または「スタンバイ（待機）」の状態で行ってください。

接続している機器の電源が「オン」のときにケーブルなどを脱着すると画面が映らなくなることがあるだけでなく、ショートなどをおこし、各機器が故障する恐れがあります。

【注意：結露に注意】

本機を寒い屋外から暖房されている部屋に持ち込むなど、急激な温度変化により、部品や本体表面に水滴がつく（結露する）ことがあります。水滴がついたままご使用になりますと、故障、感電、漏電、火災の原因となります。結露した場合は、一定時間経過してから使用してください。

【注意：ペットにご注意ください】

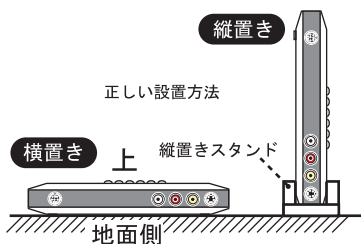
ペット（動物）の居る部屋では設置・使用しない、もしくはペットの触れることのできない場所に設置してください。ペットがケーブルをかじるなどして傷を付けたり、糞尿が製品にかかってしまうと、ショートや火災、漏電、故障の原因となります。

AC アダプターに関する注意事項

- 本機をご使用にならないときは、本機の AC アダプターを AC コンセントから取り外してください。製品の品質には万全を期しておりますが、安全を考慮し、使用しないときは本機の AC アダプターを AC コンセントから取り外すことをおすすめします。
AC アダプターは本体が接続されていなくても、AC コンセントに接続されているだけで若干の電気を消費しますので、長期間使用しないときは AC アダプターを取り外した方が安全で電気代も節約できます。
- 分解しないでください。感電・火災の原因となります。
- 同梱の AC アダプターは必ず FRAMEMEISTER（フレームマイスター）でご使用ください。他の機器でご使用にならないでください。故障・感電・火災の原因となります。
- タコ足配線をしないでください。感電・火災の原因となります。
- 濡らしたり、濡れた手で AC アダプターに触れないでください。火災・感電の原因となります。
- 使用中の AC アダプターを布などでおおったり、包んだりしないでください。火災・発熱の原因となります。
- 短時間にコンセントの抜き差しを繰り返さないでください。故障の原因となることがあります。

正しい設置方法

- 本機は下図のように地面に対して水平、または垂直に設置してください。
- 縦置きする場合は同梱の「縦置きスタンド」をご利用ください。



※接続するケーブルや配線上の都合により「縦置き」の設置が安定しない場合は、「横置き」でご利用ください。

その他ご注意いただきたいこと

- アロマランプ等アロマ関連の装置を本体やACアダプターの近くで使用しないでください。アロマランプの成分が本体内部やACアダプター内部に蓄積（付着）し、ショートや発火、漏電、故障の原因となります。
- 接続する端子や接続方法を間違えると、本機や接続した機器が故障する恐れがあります。接続の際は本書をお読みいただき、正しく接続してください。
- 本機を本来の目的以外の用途に使用しないでください。
- 車載でご使用いただいた場合の保証はいたしかねます。
- 本機や各機器を取り扱う際（特にケーブルの抜き差し時）は、事前に鉄の棒や鉄板などをさわり、体にたまっている静電気（電気）を取り除いてください。静電気は本機だけでなく接続する全ての機器の故障の原因となります。
- 長時間映像を表示し続けると、テレビやディスプレイ画面に映像の焼き付きが起こることがあります。使用しないときは、テレビやディスプレイの電源をオフにするか、本機の電源をオフをすることをお勧めします。プロジェクション方式のテレビやディスプレイでは、焼き付きが起こりやすいので特にご注意ください。弊社では、表示機器への画面の焼き付きが発生した際のいかなる保証もいたしません。

絶対にしてはいけないこと

特に RGB ケーブルでゲーム機を接続されるお客様は必ずお読み下さい。

RGB ケーブル (21 ピン) は、必ずご利用のコントロール・ボックス (アーケード・ゲーム機用のコントローラー装置) やゲーム機専用の RGB ケーブルをご利用ください。接続できるからといって、間違ったケーブルを接続しないで下さい。RGB ケーブルには 5V の電源が出力されている物があり、間違ったケーブルを使用し、ショートするなどすると、ケーブルが発熱し、ケーブルが溶けたり、燃えることがあります。また、ご利用の大切なゲーム機や本機にも大きなダメージを受けます。特に 8 ピン DIN 端子の NEOGEO 用の RGB ケーブルを配線の異なるコントロール・ボックスに接続する、MSX 用のケーブルを未対応の機器に使う、自作の RGB ケーブルで配線が間違っている、PAL 用の RGB ケーブルを NTSC のゲーム機に接続する、などは絶対におやめください。火災の原因にもなります。

※本機の RGB 入力はアーケードゲーム機の映像信号での動作は保証しておりませんのでご了承ください。

業務や設備で使用される方へ

- 本機は、業務用途での使用 (例えば数年間電源を切らずに連続使用するなど) を前提として設計されておりませんので、製品寿命や耐久性において、お客様の満足がいかないことがあります。このため、他機器 (産業用機器や製造装置など) へ組み込んで出荷するなど、業務用途で長期に連続稼働が必要とされるシステムへの安易な導入はお勧めできません。やむを得ず本機を使用しなければならないときは、保守可能な期間をご理解いただいた上、「故障時や生産終了時の代替機材を各自で事前に準備しておく」、など十分考慮の上でご検討ください。なお、本機が故障した場合に発生した二次的な損害に関しては、弊社では保証できません。また、本機が故障した際、修理中の代替機などをご用意しておりません。
- 本機は一般的なオフィス (工事現場や倉庫などではない) や家庭での使用を前提として設計された民生用の装置です。本機を、軍事機器、航空宇宙機器、原子力制御システム、幹線通信機器、交通機器、医療機器および、各種安全装置など、その故障や誤動作が社会・公共性または、直接人命や人体、財産に影響を及ぼすような高い品質・信頼性が要求される用途に使用しないでください。
- 本機を、通気性、ホコリ、安全面、メンテナンスなどの問題から屋根裏や床下など手の届かない場所に設置することはお勧めできません。

保証に関して

- 本機の保証期間は、保証規定に従いお買い上げ日から6ヶ月となります。それ以降は有償修理となります。
- 本機を日本国以外の国や地域で使用した際の事故、故障、損害に関しましては保証できません。保証規定は、日本国内においてのみ有効です。
- この取扱説明書の指示に従わずに発生した、いかなる事故、損害に関しても、弊社は一切責任を負いません。
- オークション品、中古品、リユース品、譲渡品は、入手したばかりでも保証規定の対象となりません。オークション品、中古品、リユース品、譲渡品はいかなる場合も有償修理となるか、製品の状態によっては修理をお断りさせて頂くことがあります。弊社の保証規定は、お客様が販売店で新品をご購入頂いた場合、または弊社から直接ご購入頂いた場合にのみ有効です。

保守期間とお問い合わせに関して

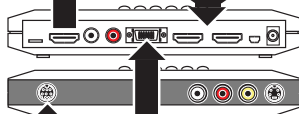
- 本機のサポート期間は、生産完了後5年間とさせていただきます。それ以降は、部品などの供給の問題から修理できない事があります。なお、代替部品で修理が可能な場合がございますので、弊社へお問い合わせください。
- 本機の仕様や外観を改良のため予告なく変更する場合があります。また、予告なく本機の生産や販売を終了する事があります。ご了承ください。
- どうしても本機が正常に動作しないときや、操作がよく分からないとき、本書をご覧になっても解決できない問題は、まず弊社にご連絡いただき、担当者の指示に従ってください。
- 本機を長期間ご利用になって、画面が乱れがちになってきたり、お客様側で故障の可能性があると判断したときは、できるだけ早く本機のご使用を中止していただき、弊社へご相談ください。

フレームマイスターとは

フレームマイスター（以下「本機」と記載）はビデオ端子、S端子（Sビデオ）、D端子（コンポーネント・ビデオ）、RGB端子（21ピンRGBマルチ）、HDMI端子の各信号を、HDMI、またはDVI（デジタル）入力が可能なテレビやディスプレイに変換して表示することが可能なアップスケーラー・ユニットです。

接続概要

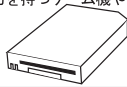
HDMI端子付きの表示装置
または
DVI（デジタル）入力端子付き
の表示装置



RGB出力（21ピンRGB
マルチ）を持つゲーム機



D端子（コンポーネント・ビデオ）
出力を持つゲーム機やビデオ機器



HDMI出力端子を持つゲーム機、ビデオ機器、パソコン



※入力可能な映像の最大解像度は1920x1080ドット（1080p）です。

※パソコンを本機に接続される場合は、必ずHDMI出力端子を持ち、ビデオ解像度（480p、720p、1080p）に対応している必要があります。パソコン特有の解像度しか持たない機種やDVI-D出力端子を持つ旧型のパソコンの映像は正常に表示できない場合があります。

ビデオ（コンポジット）/Sビデオ出力（S端子）を持つゲーム機やビデオ機器



※ビデオデッキ（ビデオテープ・レコーダー）からビデオテープの再生映像を入力した場合は、映像や音声がたいへん乱れているため、画面が乱れたり、画面が点滅するなど、正しく表示できません。

※長期間利用された旧型のゲーム機の映像出力部やそれらの接続ケーブルは部品（電解コンデンサーなど）の劣化により映像が点滅したり、乱れることがあります。特にROMカセット型のゲーム機は古いため、この様な症状が発生しやすい傾向にあります。

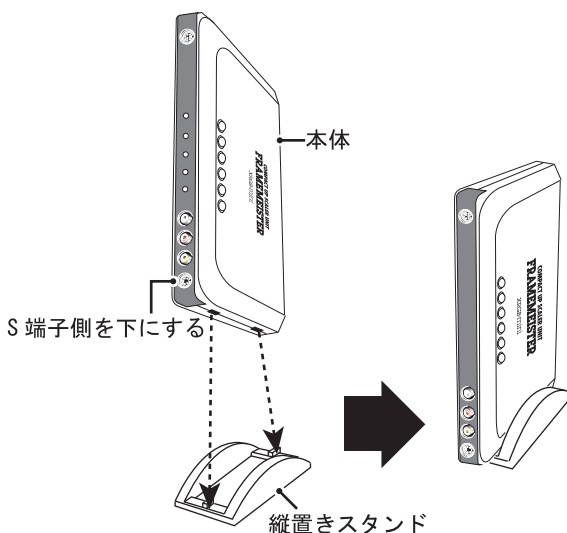
【特徴】

- HDMI、またはDVI（デジタル）入力が可能なテレビやディスプレイに、ビデオ端子、S端子、D端子、RGB（21ピン）、HDMIの映像を表示可能（HDMI信号は2系統の入力が可能）。
- Marvell社製高性能スケーラーICを採用。画質調整、映像ソースに合わせた表示サイズ選択が可能。低遅延画像処理を生かしたゲームモードを搭載。

縦置きスタンドの利用方法

■本体を縦置きで使用する

本機を縦置きで設置する際は、縦置き用スタンドを使用して、下図のように設置します。なお、RGB ケーブル（21 ピン）や太い HDMI ケーブルを使用した場合など、縦置きで使用するとかえって使いづらくなったり、設置が不安になる場合もありますので、ご利用環境に合わせて、縦置き、または横置きでご利用ください。



本書での HDMI 規格の表記にご注意ください

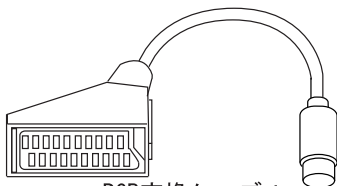
「HDMI HIGH SPEED」という表記は「HDMI 1.3」及び「HDMI 1.4」の規格で利用される表記方法です。しかしながら、本製品で対応可能な HDMI 規格は「HDMI HIGH SPEED」に含まれる規格の内、「HDMI 1.3 (相当)」のみです。このため、本書では「HDMI 1.4」の規格と区別して分かりやすく表記するため、特別な理由がない限り「HDMI HIGH SPEED」とは記述せず「HDMI 1.3 (相当)」と表記しています。

同梱品一覧

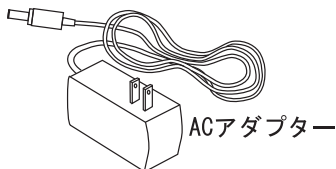
本パッケージには、以下の物が同梱されております。ご使用前にご確認ください。製品には万全を期しておりますが、万が一、欠品などがございましたら、ご使用前に弊社までご連絡ください。



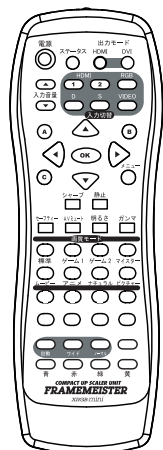
XRGB-mini
FRAMEMEISTER (本体)



RGB変換ケーブル



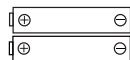
ACアダプター



リモコン



- ・保証書
- ・取扱説明書 (本書)
- ・サポート・シート



単4乾電池2本

※乾電池は動作確認用です。



縦置きスタンド

接続に必要な物

【接続ケーブルは、別途ご購入ください】

本製品には映像機器を接続するための HDMI ケーブルが付属していません。接続ケーブルは、ご利用の機器に合わせて電気店や家電量販店の AV アクセサリー・コーナーやゲーム機売り場にてお買い求めください。なお、HDMI ケーブルに関しては、High Speed HDMI ケーブル [カテゴリー 2] (HDMI 1.3) 以降の HDMI 認証に合格した製品をご利用ください。また、DVI-D 端子を持つ表示装置などに接続される場合は、HDMI-DVI 変換ケーブルが必要です。

【HDMI ケーブルの長さ】

利用できるケーブルの長さに明確な制限はありませんが、日本の家電メーカーが販売する 3.5m 以下のケーブルの使用を推奨いたします。

ケーブル品質や送信する信号の帯域によっては、それ以下の長さのケーブルでも正常に表示できない場合もありえますが、あくまで目安としてください。なお、5m、10m またはそれ以上の長い HDMI ケーブルのご利用に関しては、ケーブル品質やご利用環境、伝送される信号の帯域幅に左右されますので、弊社が動作を保証する物ではありません。対応可能な HDMI ケーブルの長さについてお問い合わせ頂きましたら弊社では回答できませんのでご了承ください。

【HDMI ケーブルの延長や挿抜による端子疲労に関して】

HDMI 信号は、超高速で、たいへんデリケートな信号であるため接点が疲労したケーブルを使用すると、画面の乱れや点滅につながる場合があります（端子の耐久性とは異なる接点劣化の問題です）。

ケーブルは挿抜を繰り返すと HDMI ケーブルの端子や本機 HDMI 端子の接点が黒っぽく汚れてきます。この黒っぽい汚れが信号の劣化に影響します。特に接点の疲労した長めのケーブルなどでは、機器とテレビを直接つなぐと問題ないが、本機や AV アンプなど、機器を複数接続して HDMI ケーブルを延長する様なシステムでは、接続される機器やケーブルが増えるごとに信号内の波形が徐々に劣化して映像や音声に問題が発生することがあります。HDMI 信号は延長に適した信号では無い、ということをご了解ください。

また、古い HDMI ケーブルや、挿抜の頻度が高い HDMI ケーブルを使用して画面にノイズや点滅が発生する場合は、新しい HDMI ケーブルに交換してみてください。

本機に接続できる機器

【本機に映像・音声を入力可能な機器の例】

●ビデオ、S、D、HDMI 出力端子を持つ下記の機器

- ビデオ・レコーダー ○ビデオディスク・プレイヤー
- 家庭用ゲーム機 ○デジタル・ビデオカメラ
- デジタル・カメラ

●DVI-D、HDMI 出力端子を持つ下記の機器

- パソコン

●水平同期周波数 15kHz のアナログ RGB 信号（21 ピン RGB マルチ）出力を持つ機器

- 家庭用ゲーム機

※対応可能な HDMI 信号は HDMI1.3 相当またはそれ以下のバージョンの信号です。

※入力できるパソコン映像はビデオ解像度（480p,720p,1080p）です。パソコン専用の画面解像度（VESA 解像度や起動時の BIOS 画面）は正しく表示できない場合があります。

【本機の出力端子に接続可能な映像機器（表示装置）の例】

本機には HDMI1.3 に対応した HDMI 入力端子を持つ下記の機器や表示装置、DVI-D 入力端子を持つパソコン用ディスプレイを接続することができます。

●HDMI 入力端子を持つ表示装置

（テレビやプロジェクター、ディスプレイなど）

●HDMI 入力端子を持つ AV 機器

（AV アンプやホームシアターシステム）

参考：出力側に接続可能な機器は、入力側の機器の映像や音声を直接 HDMI ケーブルで接続して利用可能な機器に限ります。

●DVI-D 入力端子を持つパソコン用ディスプレイ

対応できない、または動作保証できない機器や信号

本機は下記の信号は正しく変換できないか、対応しておりません。

- ビデオテープレコーダー（VTR）の再生時の映像信号
- アーケードゲーム機器（業務用ゲーム機）の映像
- 超音波診断装置、書画カメラ、監視カメラ、製造装置、パチンコなどの開発機器で、一般的な映像規格に互換性の無い映像を出力する業務用機器
- TTL デジタル RGB の映像信号
- HDMI 1.4 や HDMI2.0 以降の機器や信号（HDCP2.0 以降も未対応）
- with Ethernet（HEC）の信号
- オーディオリターンチャンネル（ARC）の信号やそれらの信号を利用した機器
- デュアルリンク接続を必要とされる機器の信号
- HDMI 1.3 に対応した信号であっても帯域幅が 225MHz を超える信号
- DisplayPort など別の規格の信号を何らかの方法で HDMI や DVI-D に変換した信号
- 4K の信号（3840x2160 など）を出力する機器、UltraHD Blu-ray プレイヤー、スカパー 4K チューナー
- HDR に対応した映像信号
- 30bit（各 10bit）カラーや 48bit（各 16bit）の HDMI 信号
- HDMI 分配器や HDMI 切替器を経由した HDMI 信号
- 3D（立体）表示のための信号
- HDMI 信号に含まれる特定の音声信号（56 ページ参照）

【HDMI の分配器や切替器（セレクター）などとの併用に関して】

本機を HDMI 分配器や HDMI 切替器（AV アンプを除く）に接続して使用された際の動作保証の範囲外とさせていただきます。

これらの装置をご利用いただいた場合、EDID の解像度の挙動が不明であったり、信号の特性が変化（または劣化）するなどの場合があります、正常に動作しない事があります。これらの装置を同時に使用された際は自己責任にてご利用頂き、動作保証に関してはご容赦ください。

<推奨の接続の例>

- ・機器（出力元）→本機→表示装置（TV やディスプレイ）
- ・機器（出力元）→本機→AV アンプ→表示装置（TV やディスプレイ）
- ・機器（出力元）→AV アンプ→本機→表示装置（TV やディスプレイ）

本機の HDMI 入力端子に機器を接続されるお客様へ

本機には HDMI 入力端子が 2 系統用意されており、HDMI 出力を持つ機器を接続可能です。

ただし、本機の HDMI 入力端子は、パススルー用の物ではなく、入力された信号に色情報や表示位置、または解像度の変換（スケーリング）など、なんらかの調整を行って出力します。このため、出力された HDMI 映像や質感は必ずしも入力された HDMI 映像と同じにならない場合があります。

HDMI 入力端子を持つ表示装置のAspectに関して

HDMI 入力端子を持つ表示装置に接続する場合（本機の出力モードが「HDMI モード（480p/720p/1080i/1080p）」の時）、テレビ側は必ずワイド（16：9）の物をご利用下さい。

HDMI 入力端子を持つ表示装置の場合、ノーマル（4：3 や 5：4）の表示装置には対応いたしません。

※パソコン用ディスプレイでは 16:10 の機種もありますが、画面上で HDMI 入力の時、16：9 の表示が可能であれば問題ありません。

※ DVI 端子付きの表示装置（本機の出力モードが「DVI モード」の時）の場合で、本機の対応解像度を持つディスプレイであれば 4：3 でも 5：4 でも表示は可能です。

なお、本機の出力解像度はディスプレイに合わせて正しく設定する必要があります。

DVI 入力端子付きの表示装置を接続されるお客様へ

DVI 端子には、元々音声の規格が無いいためパソコンの DVI 端子から出力される信号には音声が含まれておりません。このため、DVI 端子付きの表示装置（パソコン用ディスプレイなど）では音声を利用することはできません。

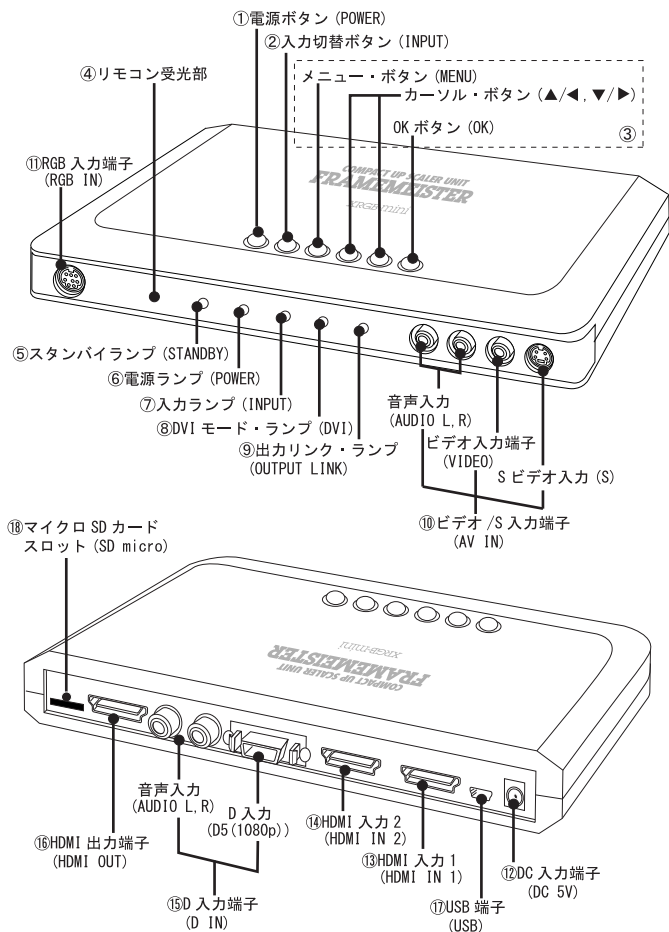
※一部独自の対応により、音声を利用できるディスプレイがあります。

DVI 入力端子付きのブラウン管ディスプレイに関して

ブラウン管ディスプレイで DVI 端子付きの旧型のディスプレイがあります（IBM 社製の旧型のブラウン管ディスプレイなど）。これらのディスプレイは、配線が「アナログ RGB（DVI-A）」の規格となっているため、本機は接続できません。

FRAMEMEISTER の各部名称と解説

本機の各部名称と機能は下記をご覧ください。



①電源ボタン (POWER)

このボタンを押すことで、本機の電源を「オン (入)」にすることができます。もう一度このボタンを押すことで、本機の電源を「スタンバイ (待機)」にすることができます。

※スクリーン・メニューの「POWER」の設定が「オン」の時、通電時常に電源「オン (入)」となりますので、このボタンは使用できません。

②入力切替ボタン (INPUT)

本機の入力端子に接続されている信号を切替えることができます。このボタンを押す度に下記の様に切替えることができます。

「ビデオ」→「S」→「D」→「RGB」→「HDMI 1」→「HDMI 2」→「ビデオ (戻る)」

<参考>

ビデオとSは、映像は切替え可能ですが、音声や設定は共通です。

③メニュー・ボタン、カーソル・ボタン、OK ボタン (MENU、▲ / ◀、▼ / ▶、OK)

[メニュー・ボタン]:

スクリーン・メニューを表示したり、終了するボタンです。

スクリーン・メニューの深い階層を表示しているときは、上の階層に戻ることができます。設定中の内容をキャンセルする、キャンセル・ボタンとしての機能もあります。

[▲ / ◀、▼ / ▶ボタン]:

スクリーン・メニューのカーソルを操作したり、設定内容を変更するためのボタンです。

[OK ボタン]:

スクリーン・メニューのカーソルで選択された項目を決定したり、設定内容の決定を行うボタンです。

④リモコン受光部

リモコンの赤外線信号を受光する部分です。

リモコンはこの部分に向けて操作してください。

⑤スタンバイ・ランプ (STANDBY)

本体が待機状態の時に点灯（点滅）するランプです。

⑥電源ランプ (POWER)

本機の電源が「オン（入）」の時に点灯するランプです。

本機に通電すると点灯します。

⑦入力ランプ (INPUT)

本機に映像信号が入力されたときに点灯するランプです。

⑧ DVI モード・ランプ (DVI)

本機の「出力モード」の設定が「DVI」の時に点灯します。

本機を DVI 端子付きのディスプレイ(または DVI 端子付きのテレビ)の DVI 端子に接続する際、このランプが点灯していることを確認してください。このランプが点灯しているとき DVI 端子付きのディスプレイで正しい表示が可能です。なお、ディスプレイやテレビの HDMI 端子に接続する場合は、逆にこのランプが消灯している必要があります。

⑨出力リンク・ランプ (OUTPUT LINK)

本機の出端子に正しくテレビやディスプレイが接続され、HDMI 信号が出力可能な状態であることを確認するランプです。このランプが点灯しているとき、本機は映像を出力可能です。

なお、表示装置の電源がオフの状態や表示装置側（テレビ側）の入力チャンネルが本機以外に設定されている場合は点灯しないことがあります。

⑩ビデオ /S 入力端子 (AV IN[VIDEO/S/AUDIO L,R])

ビデオ映像（コンポジット・ビデオ信号）、S ビデオ映像、アナログ音声信号を入力する端子です。ビデオ映像と S ビデオ映像はそれぞれ独立した入力チャンネルとして使用できますが、音声や設定は共通となっています。

⑪ RGB 入力端子 (RGB IN)

SD 解像度（水平同期周波数 15kHz, 60Hz, 複合同期信号）のアナログ RGB 映像信号とアナログ音声信号を入力する端子です。

主に旧型の RGB 出力（21 ピン）を持つ家庭用ゲーム機を接続できます。

⑫ DC 入力端子 (DC 5V)

電源を入力する端子です。同梱の AC アダプター(5V)を接続します。

⑬ HDMI 入力端子 1 (HDMI IN 1)

HDMI 信号を入力する端子です。HDMI 信号は Ver.1.3 相当の信号を入力できます。

※信号の対応の詳細は 66 ページをご確認ください。

⑭ HDMI 入力端子 2 (HDMI IN 2)

HDMI 信号を入力する端子です。HDMI 信号は Ver.1.3 相当の信号を入力できます。

※信号の対応の詳細は 66 ページをご確認ください。

⑮ D 入力端子 (D IN,AUDIO L,R)

D 端子 (コンポーネント・ビデオ) の出力を持つ機器を接続する端子です。

※信号の対応の詳細は 66 ページをご確認ください。

⑯ HDMI 出力端子 (HDMI OUT)

HDMI 信号を出力する端子です。

HDMI 信号は Ver.1.3 相当の信号を出力できます。

DVI-D の機器に接続されているときは、DVI の信号を出力します。

※対応解像度に関しては 66 ページをご確認ください。

※ HDMI 対応の表示装置に接続する場合は、「出力モード」を「HDMI」に設定してください。

DVI 対応の表示装置に接続する場合は、「出力モード」を「DVI」に設定してください。

リモコンまたはスクリーン・メニューから設定可能です (23 ページ「重要：出力モードは正しく設定してください」を参照してください)。

⑰ USB 端子 (USB)

パソコンの USB 端子と接続できる端子 (ミニ USB TypeB) です。

通常は使用しない端子ですので、何も接続しないでください。

本機のマイクロ SD スロット (SDmicro) にマイクロ SD カードがセットされているとき、USB ケーブルで本機をパソコンに接続すると、SD カードリーダー / ライターとして動作します。

本機のファームウェア・アップデートの際に、パソコンでダウンロードしたデータを簡単に SD カードに書き込むために利用します。

ファームウェア・アップデートに関しては弊社 Web ページをご参照ください。

⑱ マイクロ SD スロット (SDmicro)

マイクロ SD 対応スロットです。

マイクロ SD カードに設定データをセーブ / ロードしたり、ファームウェアのアップデートなどに使用します。

ファームウェア・アップデートに関しては弊社 Web ページをご参照ください。

接続の前に

ここでは、本機をご利用になるための、接続手順を解説いたします。
24～25 ページの手順を参考にして、映像機器や本機、表示装置の接続を行ってください。

【接続の前に確認しましょう】

- HDMI 映像を出力する機器の中には、出荷時の状態で HDMI 信号の出力が「オフ（切）」となっている場合があります。映像や音声が出力されないことがあります。本機を接続する前に、HDMI 信号の出力（映像と音声）を「オン（入）」に設定してください。
- 現在、本体に AC アダプターが接続されているときは、本体から AC アダプターを取り外してください。また、接続したい機器の電源は「オフ（切）」または「スタンバイ（待機）」にしてください。

【重要：出力モードは正しく設定してください】

本機で正しい表示を行うために、接続後は必ず映像の「出力モード」を正しく設定してください。

「出力モード」は「HDMI」モードと「DVI」モードがあります。

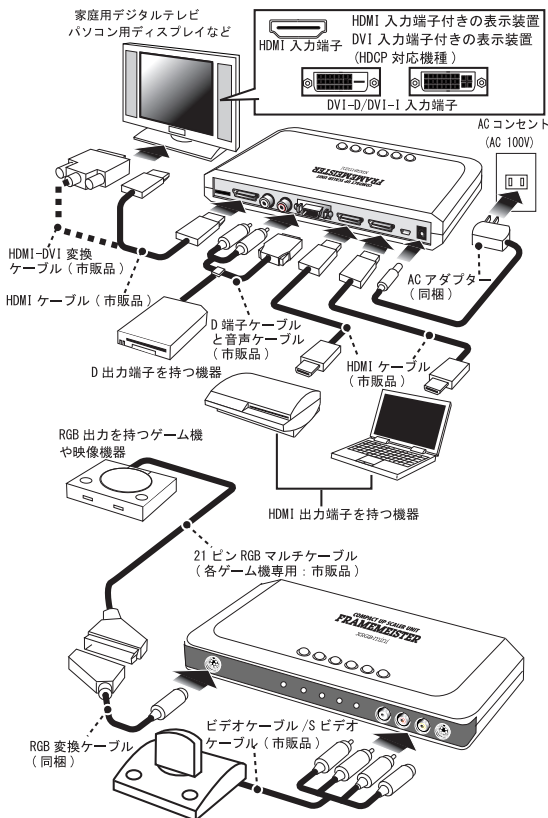
「出力モード」は本体のスクリーン・メニュー、またはリモコンの「出力モード（「HDMI ボタン」または「DVI ボタン」）で変更できます。

表示装置の HDMI 端子に接続時 → 出力モードを「HDMI」にする。

表示装置の DVI 端子に接続時 → 出力モードを「DVI」にする。

これらの設定を間違えると、画面全体が「変色」したり、映像が「乱れる」、「表示されない」、などの症状が発生します。

各機器との接続と表示



■接続手順

- ① 市販の接続ケーブルを使用して、ビデオ、S、D 端子、HDMI、RGB の各出力端子を持つ機器（ビデオ・レコーダーやゲーム機）を、本機の「入力端子」に接続します。
- ② 市販の HDMI ケーブルを使用して、HDMI 入力端子を持つ表示装置（テレビやプロジェクターなどの表示装置）を、本機の「出力」に接続します。

※ DVI-D 入力を持つパソコン用ディスプレイなどに接続される際は、HDMI - DVI 変換ケーブルなどを使用して接続してください。

- ③ 同梱の AC アダプターを本体の DC 入力端子 (DC 5V) に接続し、AC アダプター側を AC コンセント (100V) に接続して下さい。本体前面の「待機ランプ (STANDBY ランプ)」が点灯します。
- ④ 接続が終わったら、本機またはリモコンの「電源ボタン (POWER)」を押して、電源を「オン (入)」にします。本体前面の「電源ランプ (POWER ランプ)」が点灯します。
- ⑤ 本機の HDMI 出力端子に接続している表示装置 (テレビやディスプレイ、プロジェクター) の電源を「オン (入)」にします。接続している表示装置の入力チャンネルを、本機が接続されているチャンネルにします。本体前面の「出力リンクランプ (OUTPUT LINK)」が点灯します (画面が表示されるまでこのランプは何度か点滅することがあります)。画面には「青い映像」が表示され、入力信号が無い場合は「NO_INPUT」というメッセージが表示されます。
- ⑥ 本機の入力端子に接続している機器の電源を「オン (入)」にします。
- ⑦ 本体の「入力選択ボタン (INPUT ボタン)」またはリモコンの「入力選択 (VIDEO、S、D、RGB、HDMI1/2) ボタン」を押して、表示したい機器の入力チャンネルを選択します。映像が正しく入力されていれば、本体前面の「入力ランプ (INPUT ランプ)」が点灯します。
- ⑧ 本機の出力量モードを設定します。リモコンの「出力モード (HDMI または DVI)」を押して、出力モードを正しく設定して下さい。表示装置の HDMI 入力端子に接続しているときは「HDMI」、DVI 入力端子に接続しているときは「DVI」を選択します。

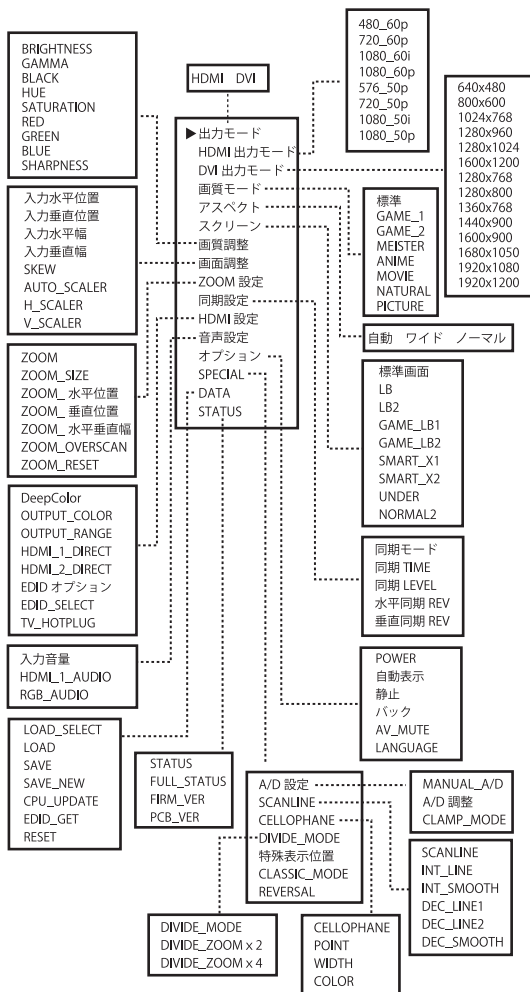
※ 「出力モード」の変更は、スクリーン・メニューでも設定可能。

- ⑨ 本機の出力量解像度を、接続している表示装置に最適な解像度に合わせます。スクリーン・メニューを表示し、「HDMI 出力モード」、または「DVI 出力モード」からカーソルで最適な解像度を選択して、画面の表示が確認できたらカーソルで「OK」を選択し、リモコンか本体の「OK ボタン」を押してください。

※ 間違えて解像度を選択してしまい、映像が表示されなくなったときは、カーソルを操作せず、そのまま「OK ボタン」を押して (「中止」を選択して) 解像度の設定を元に戻してください。それでも表示がうまく行かないときは、リモコンの「セーフティー・ボタン (機能は 51 ページ参照)」を 2 秒程度押してみてください。

スクリーン・メニューとその機能

本機のスクリーン・メニューには下記の機能があり、設定を変更したり、映像などを調整することが可能です。

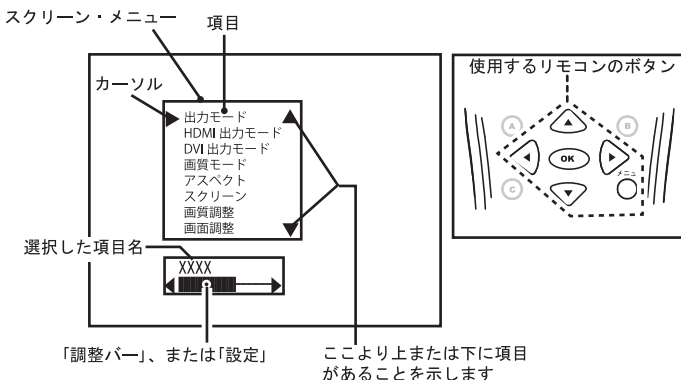


※ビデオ入力端子とS入力端子の設定は共通となります。
 ※入力チャンネルによっては利用できない機能があります。

【スクリーン・メニューの各部名称と操作】

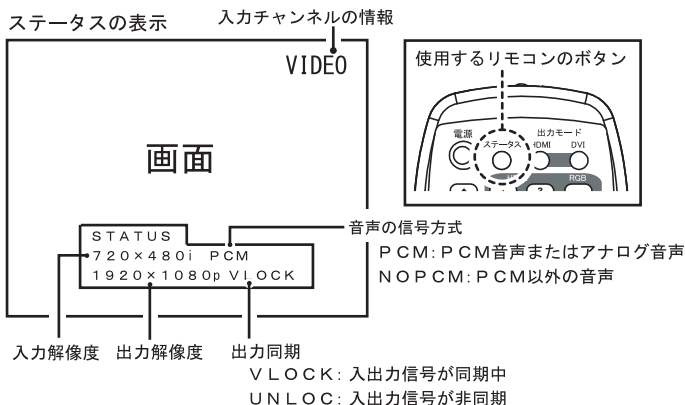
本体やリモコンの「メニュー・ボタン (MENU)」を押すことで、表示装置の画面に「スクリーン・メニュー」を表示することができます。スクリーン・メニューでは、様々な設定を行うことができます。

操作は、本体やリモコンの「メニュー (MENU)」、「▲」、「▼」、「◀」、「▶」、「OK」の各ボタンで操作します(リモコンの詳しい機能は 48 ページ参照)。



【画面のステータスを表示する】

画面の情報を表示したい時は、リモコンの「ステータス」ボタンを押して下さい。現在画面がどのような解像度になっているかなど、簡単な情報を表示することができます。



メインメニュー

メインメニューはメニュー・ボタンを押すと最初に表示されるメニューです。機能に関しては各ページをご覧ください。

	ページ
出力モード	28
HDMI 出力モード	29
DVI 出力モード	29
画質モード	30 ~ 31
アスペクト	32
スクリーン	32 ~ 34
画質調整	35
画面調整	36 ~ 37
ZOOM 設定	38
同期設定	38 ~ 39
HDMI 設定	40 ~ 42
音声設定	42
オプション	43
SPECIAL	44 ~ 47
A/D 設定	44
SCANLINE	44 ~ 45
CELLOPHANE	45
DIVIDE_MODE	46
特殊表示位置	46
CLASSIC_MODE	46
REVERSAL	47
DATA	47
STATUS	47

出力モード

本機の出力モードを選択することができます。

[HDMI]：本機の出力モードを選択することができます。

本機を表示装置の HDMI 入力端子に接続している時に選択してください。

[DVI]：本機を表示装置の DVI 入力端子に接続している時に選択してください。

※工場出荷時の設定は「HDMI」です。

HDMI 出力モード

HDMI 出力モード時の出力解像度を設定できます。

すべてワイド解像度（16：9）の表示装置に接続することを前提にしています。解像度は下記の物があります。ご利用の表示装置の解像度に合わせて選択してください。できるだけ表示装置のパネル解像度と同等の解像度（最適な解像度）を選択した方が、極力テレビ側のスケーリングに頼らない映像を得ることができます。なお、解像度はすべて HDMI 用のビデオ解像度です。工場出荷時の設定は「480p」です。

- [480_60p] : 480p で出力します。60p に対応。
- [720_60p] : 720p で出力します。60p に対応。
- [1080_60i] : 1080i で出力します。60i に対応。
- [1080_60p] : 1080p で出力します。60p に対応。
- [576_50p] : 576p で出力します。50p に対応。
- [720_50p] : 720p で出力します。50p に対応。
- [1080_50i] : 1080i で出力します。50i に対応。
- [1080_50p] : 1080p で出力します。50p に対応。

- ※ 50i/50p は PAL 方式の地域で販売されているテレビ向けの解像度です。この解像度は NTSC 方式の地域（日本を含む）で利用されているテレビは対応しておりません（業務用のテレビを除く）。このため、むやみに 50i/50p に設定すると画面が表示されなくなる場合がありますのでご注意ください。
- ※ HDMI 出力モードは HDMI 端子付きの表示装置（ビデオ解像度）に対応した物です。DVI 端子の表示装置での動作は保証いたしかねます。
- ※ ご利用の表示装置の解像度より高い解像度を設定すると、映像が表示できなくなる場合がありますのでご注意ください。
- ※ テレビの表示設定（画面モード設定）の機能があるときは、それらを「フル（またはワイド）」に設定することをお勧めします。
- ※ 設定を間違えて映像が表示されなくなった時は、本書の最終ページ（裏表紙）をご覧ください。本機を操作してください。

DVI 出力モード

DVI 出力モード時の出力解像度を設定できます。DVI 端子で表示装置に接続する際に使用します。解像度は下記の物があります。必ずご利用の表示装置の解像度に合わせて設定してください。なお、解像度はすべて DVI 用のパソコン解像度で、ノンインターレース（プログレッシブ）です。工場出荷時の設定は「1024 × 768」です。

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| [640 × 480] | [1280 × 768] | [1920 × 1080] |
| [800 × 600] | [1280 × 800] | [1920 × 1200] |
| [1024 × 768] | [1360 × 768] | |
| [1280 × 960] | [1440 × 900] | |
| [1280 × 1024] | [1600 × 900] | |
| [1600 × 1200] | [1680 × 1050] | |

- ※ ご利用の表示装置の解像度より高い解像度を設定すると、映像が表示できなくなる場合がありますのでご注意ください。
- ※ DVI 出力モードは DVI 端子付きのディスプレイ（パソコン用 [VESA]）に対応した物です。HDMI 端子を持つ表示装置での動作は保証いたしかねます。
- ※ 設定を間違えて映像が表示されなくなった時は、本書の最終ページ（裏表紙）をご覧ください。本機を操作してください。
- ※ 1920x1200 ドットと 1600x1200 ドットの出力解像度では画面の表示に制限があります。詳しくは 58 ページをご覧ください。

画質モード

「画質モード」は映像の質感や色合いを選択することができます。接続している機器やコンテンツに合わせてご利用ください。入力端子ごとに設定可能です。画質モードは下記の種類があります。

【標準】

出荷時の状態です。色合いなどは、特に特徴がありません。480i/1080iなどのインターレース映像は、動き適応型 3D I/P 処理を行います。

【GAME_1】

ゲームに向けた低遅延処理で映像を表示します。480i/1080iなどのインターレース映像は 2D I/P 処理を行いますので、画面はちらつきますが、低遅延で処理されます。アクションゲームやシューティングゲーム、音楽ゲーム、スポーツゲームなど映像が遅延しては困るゲームに向いています。

【GAME_2】

ゲームに向けた低遅延処理で映像を表示します。機能は「GAME_1」とほぼ同じですが、「ANIME」の様な色あいで表現します。

【MEISTER】

GAME1と同様に2D I/P変換により低遅延の映像処理を行います。ただし、MEISTERでは特定の解像度の映像に擬似的な走査線を表示します。出力映像に対し、黒い横線を挿入することで、低い画質を再現しオールドゲームの質感を実現します。

【ANIME】

色を強調するモードです。原色（赤、青、緑）や、パステル調の色などを強調します。メリハリのある表現が可能なので、アニメなどの表示に適しています。480i/1080iなどのインターレース映像は、動き適応型 3D I/P 処理を行います。

【MOVIE】

映画などの映像に適した色合いと質感を表現するモードです。480i/1080iなどのインターレース映像は、動き適応型 3D I/P 処理を行います。画面にフィルムのようなノイズ感を追加しています。

【NATURAL】

自然の風景など、ピュアな映像に適した色合いと質感を表現するモードです。480i/1080iなどのインターレース映像は、動き適応型 3D I/P 処理を行います。

【PICTURE】

静止画など、動きが無い映像に適したモードです。

インターレース映像は、3D I/P 処理（動き適応型ではない）を行います。動き補正が行われなため、480i や 1080i など、インターレース方式の入力映像で動画を表示すると、動きのある部分が「くし形」に表示されてしまいます。

静止画の表示は鮮明ですが、画面上に動きのある映像や、動画の表示には向きません。

ゲームで問題となる遅延とは・・・

本書に記載の「遅延」とは、薄型テレビなどで映像や音声デジタル処理される際に時間がかかり、その結果元の映像や音声よりも遅れて画面が表示されることを意味します。

ブラウン管の時代には電子銃から出力される陰極線の走査によって表示していたため（映像信号を蓄えることができなかつたため）、入力された瞬間に映像を表示しなければなりません。

このため特別なデジタル処理を行っていないテレビでは遅延はほとんどありませんでした。しかし、薄型テレビ（液晶テレビ）などは、映像を一旦メモリ上に蓄えて、対象とする液晶パネルの仕様にあわせて複雑な画像処理を行ってから映像を表示するため、どうしても時間がかかります。テレビ放送や映画などでは気にならなくても、カラオケやゲームといった、画面と人の動作が連動するような場面では遅延が大きい場合、しばしば障害となることがあります。

テレビの内部で映像を丁寧に処理する程、遅延が大きくなります。

例えば古いゲーム機で使用されている SD 映像を HD 映像に変換する場合などは、より遅延が大きくなりがちです。ゲームでは映像が遅延すると、遅れた映像に対してゲーム・キャラクターの操作を行うこととなり、「キャラクターの動作が重く感じる」、「確かに避けたはずなのに、キャラクターが敵に当たってしまった（ゲームが下手になったように感じる）」、「画面と効果音がズれる」などの症状が発生します。本機の「画質モード」で「低遅延」なものをご利用頂ければ、できるだけ遅延が無い画像処理でテレビに映像を入力できます。ただし、いくら本機で低遅延処理を行っても、テレビの持つ機能（性能）で遅延が発生する場合は、低遅延にならない場合があります。ゲームを意識したテレビでは低遅延の「ゲームモード」などを持つ機種も有るため、一度テレビの説明書も読むことをお勧めします。

アスペクト

「アスペクト」は入力される映像に合わせてアスペクト（画面比率）を選択する事が可能です。入力端子ごとに設定が可能です。

【自動】：映像に含まれる VBI 信号やアスペクト情報を元に自動的に「ワイド」と「ノーマル」を認識します。

【ワイド】：強制的に 16：9 で表示します。

【ノーマル】：強制的に 4：3 で表示します。

スクリーン

「スクリーン」は、映像コンテンツに合わせて、表示状態を変更する機能（アスペクトとは違う機能）です。表示する映像や機器に合わせて使用してください。入力端子別に設定が可能です。

【標準画面】

スクリーンで表示された表示モードを終了し、「アスペクト」で設定された画面比率の表示（自動、ワイド、ノーマル）に戻ることができるボタンです。

【LB】

ビデオ・コンテンツのレターボックス映像（4：3 の映像ソースで画面中央に額縁表示される映像）をワイドテレビなどに拡大して表示する機能です。この機能の画面の表示領域は家庭用ワイドテレビの「フル（またはワイド）」表示に合わせていますので、テレビの設定（画面モード）もこれに合わせてください。家庭用テレビはオーバースキャンなので、映像がテレビの表示領域に収まるよう、LB2 よりも若干画面が小さくなるように調整されています。この機能を使用しているときは、アスペクトの設定は反映されません。

なお、画面の形状がノーマルの表示装置（本機の出力モードが「DVI」で 4：3 や 5：4 の解像度）では「標準画面」と同じになるため効果はありません。

「LB」表示を終了するには「標準画面」を選択してください。

※入力解像度が 1080p、または出力解像度が 1080p 以上の時、「LB」の効果は画面に反映されません。

【LB2】

「LB」と同じ機能ですが、画面の表示領域をパソコン用ディスプレイ（アンダースキャンの表示装置）に合わせています。

※入力解像度が 1080p、または出力解像度が 1080p 以上の時、「LB2」の効果は画面に反映されません。

【GAME_LB1】

ポータブル・ゲーム機のレターボックス映像を画面に拡大して表示する機能です。画面の中央に額縁表示される映像を画面一杯に表示します。この機能の画面の表示領域は家庭用テレビの「フル（またはワイド）」表示に合わせていますので、テレビの設定（画面モード）もこれに合わせてください。家庭用テレビはオーバースキャンであるため、「GAME_LB2」よりも若干画面が小さくなるように調整されています。この機能を使用しているときは、アスペクトの設定は反映されません。ポータブル・ゲーム機の映像出力設定は必ず 16:9（ワイド）に設定してください。「GAME_LB1」表示を終了するには「標準画面」を選択してください。

【GAME_LB2】

「GAME_LB1」と同じ機能ですが、画面の表示領域をパソコン用ディスプレイ（アンダースキャンの表示装置）に合わせています。

【スマート_x1】

表示している画面解像度（出力解像度）より入力解像度が低い時は映像を整数倍で表示します。ジャギーの少ない映像を得ることができます。なお、これらの映像が現在本機が出力しているドット数よりも高くなってしまふ場合は、通常表示と同様にスケーリングして表示されます。「スマート_x1」の表示を終了するには「標準画面」を選択してください。

【スマート_x2】

基本的には「スマート_x1」と同じ機能ですが、「スマート_x1」の2倍のドットサイズで表示します。なお、これらの映像が、現在本機が出力している解像度のドット数よりも高い場合は、通常表示と同様にスケーリングして表示されます。「スマート_x2」の表示を終了するには「標準画面」を選択してください。

【UNDER】

映像をアンダースキャン表示します。主に家庭用テレビに接続した際に使用します。家庭用テレビはオーバースキャン方式の表示なので、画面全体を縮小させ、擬似的にアンダー・スキャン（画面からはみ出す部分も表示する）を実現します。この機能はオーバースキャンの特性を持つ家庭用テレビ向けの機能です。

この機能を使用した状態で、アスペクトの「ワイド」、「ノーマル」を変更すると表示アスペクトを変更できます。アンダーの表示を終了するには「標準画面」を選択してください。

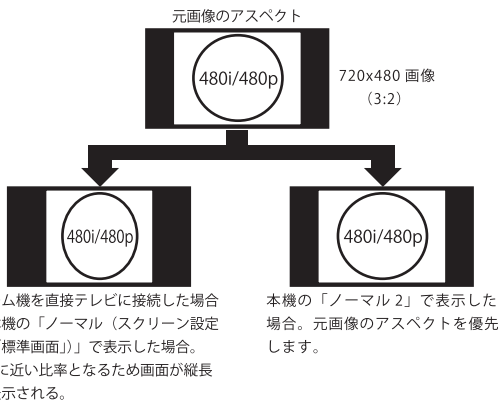
※テレビの機種やメーカー、および解像度によってオーバースキャン率が異なるため、必ずしも映像がテレビの画面内に表示できるとは限りません。

※パソコン用ディスプレイは元々アンダースキャンであるため、アンダーをパソコン用ディスプレイで使用すると画面が小さく表示されます。

※入力信号が1080p解像度の時「アンダー」の設定は画面に反映されません。

【NORMAL2】

アナログテレビの画面比率は4:3であり、旧型ゲームの映像やアナログ放送の映像は640x480に近い比率でコンテンツが作成されています。それらを正常表示するために液晶テレビもアスペクトが4:3で正しい表示になるよう調整されています。しかし、D端子やHDMIの規格では、480iや480pの画面解像度は720x480です。これは4:3ではありません。このため、480iや480pの規格で作成されたコンテンツ（720x480ドットでドット比1:1で作成したコンテンツ）は、そのまま液晶テレビなどで表示すると画面が縦長（円が楕円になる）に表示されます。「ノーマル2」では、こういった縦長の表示を改善することができます。



※「ノーマル2」を使用すると240p/720p/1080i/1080p入力は画面の比率がおかしくなってしまうため、これらの解像度での使用はお勧めできません。

※入力信号が1080p解像度の時「ノーマル2」の設定は画面に反映されません。

※「ノーマル2」使用時はアスペクトの設定を「ノーマル」にしてください。

画質調整

「画質調整」では、映像の明るさや、色のレベルなどを調整することができます。

入力端子ごとに設定可能です。

画質調整には下記の機能があります。

■ BRIGHTNESS (ブライツネス)

映像の明るさを調整することができます。

■ GAMMA (ガンマ)

映像の薄暗い部分を明るく調整することができます。

■ BLACK (ブラック)

映像の黒レベルの調整を行います。

■ HUE (ヒュー)

映像の色合いの調整を行います。

HDMI 端子の表示装置に接続され、入力のカラモードが「Y、PB、PR (Y、CB、CR)」の時に使用できます。

■ SATURATION (サチュレーション)

映像の色の濃さの調整を行います。入力のカラモードが「Y、PB、PR (Y、CB、CR)」の時に使用できます。

■ RED (レッド)

映像の赤のレベルの調整を行います。入力のカラモードが「RGB」の時に使用できます。

■ GREEN (グリーン)

映像の緑のレベルの調整を行います。入力のカラモードが「RGB」の時に使用できます。

■ BLUE (ブルー)

映像の青のレベルの調整を行います。入力のカラモードが「RGB」の時に使用できます。

■ SHARPNESS (シャープネス)

映像の鮮明度を調整する機能です。

画面調整

「画面調整」は画面の表示位置や表示幅を微調整する機能です。

■入力水平位置

入力映像の水平方向（横）の位置を調整できます。

画面の右端や左端が欠ける場合に調整してください。なお、この機能を調整する度に画面が点滅し、設定が画面に反映されます。

調整すると画面が乱れたり、映らなくなる場合もありますのでご注意ください。

※この機能は特殊な機能なので、できるだけ操作しないでください。

■入力垂直位置

入力映像の垂直方向（縦）の位置を調整できます。画面の上部や下部が欠ける場合に調整してください。なお、この機能を調整する度に画面が点滅し、設定が画面に反映されます。調整すると画面が乱れたり、映らなくなる場合もありますのでご注意ください。

調整すると画面が乱れたり、映らなくなる場合もありますのでご注意ください。

※この機能は特殊な機能なので、できるだけ操作しないでください。

■入力水平幅

入力映像の水平方向（横）の幅を調整できます。映像の表示幅を調整したいときに操作してください。

なお、この機能を調整する度に画面が点滅し、設定が画面に反映されます。調整すると画面が乱れたり、映らなくなる場合がありますのでご注意ください。

※この機能は特殊な機能なので、できるだけ操作しないでください。

■入力垂直幅

入力映像の垂直方向（縦）の幅を調整できます。映像の表示幅を調整したいときに操作してください。

なお、この機能を調整する度に画面が点滅し、設定が画面に反映されます。調整すると画面が乱れたり、映らなくなる場合がありますのでご注意ください。

※この機能は特殊な機能なので、できるだけ操作しないでください。

■SKEW（スキュー）

アナログ映像をデジタルにサンプリング（A/D変換）する際、ドットを取り込む位置を調整することができます。画面に水平方向のノイズが発生する場合や、水平方向に映像（縦線など）が揺れる場合に調整すると、症状が改善される場合があります。

※この機能は特殊な機能なので、できるだけ操作しないでください。

■ AUTO_SCALER (オート・スケーラー)

画面のスケーリング品質を自動で設定します。この設定は入力端子別に設定が可能です。

- [オフ] : スケーリング設定を手動で調整できます。「H_SCALER」と「V_SCALER」を使用できるようになります。
- [ゲーム] : ゲーム向けのスケーラー設定を入出力の解像度の組み合わせで自動選択します。ゲーム向けの少しシャープなスケーリングに設定されています。
- [ビデオ] : ビデオ機器向けのスケーラー設定を入出力の解像度の組み合わせで自動選択します。柔らかい質感のスケーリングに設定されています。

■ H_SCALER (エッチ・スケーラー)

「AUTO_SCALER」が「オフ」の時に使用できます。

画面の水平方向（横方向）のスケーリングを設定できます。最適な位置を選択してください。画面のスケーリング品質は入力端子別、解像度別に設定が可能です。

■ V_SCALER (ブイ・スケーラー)

「AUTO_SCALER」が「オフ」の時に使用できます。

画面の垂直方向（縦方向）のスケーリングを設定できます。最適な位置を選択してください。画面のスケーリング品質は入力端子別、解像度別に設定が可能です。

- ※ スケーラーに関する設定は、本機への入力と、本機からの出力が同じ解像度（同じドット数の場合）で、スケーリングを行っていないときは画面に反映されません。ただし「入力水平幅」と「入力垂直幅」の設定変更、及び「スクリーン」の各機能の使用、「アスペクト」の変更はスケーリングと見なされるので、スケーラーに関する設定が画面に反映され、画面が急にぼやけて見えることがあります。

ZOOM 設定 (ズーム設定)

「ZOOM 設定」は画面を拡大して表示するための機能です。
「ZOOM 設定」には下記の機能が有ります。

■ ZOOM (ズーム)

画面の拡大表示をオン/オフする機能です。

【オフ】: 拡大表示を終了します。

【オン】: 拡大表示を使用します。

< ZOOM 使用時のリモコンのボタン操作 >

ズーム表示中でおおかつスクリーン・メニューが表示されていないとき、リモコンのメニュー操作ボタンでズームの表示位置 (ZOOM 垂直位置、ZOOM 水平位置) を調整することができます。

「▲」: 画面の上を見たいときに操作します。

「▼」: 画面の下を見たいときに操作します。

「◀」: 画面の左を見たいときに操作します。

「▶」: 画面の右を見たいときに操作します。

「OK」: 操作を終了するときに押します。

※ ZOOM に関する調整機能は、調整中は画面に変化がありません。調整後に画面に反映されます。また、その際一瞬画面が乱れますがご了承ください。

■ ZOOM_SIZE (ズーム・サイズ)

ZOOM が「オン」のとき、画面を拡大・縮小する機能です。

■ ZOOM 水平位置

ZOOM が「オン」のとき、拡大表示された部分を水平方向 (横) に移動することができます。

■ ZOOM 垂直位置

ZOOM が「オン」のとき、拡大表示された部分を垂直方向 (縦) に移動することができます。

■ ZOOM 水平垂直幅

ZOOM が「オン」のとき、拡大表示された部分の水平または垂直の幅を調整できます。画面比率の微調整などに使用します。

■ ZOOM_OVERSCAN (ズーム・オーバースキャン)

ZOOM が「オン」のとき、表示される部分の表示範囲を広げたり、狭くすることができます。

■ ZOOM_RESET (ズーム・リセット)

ZOOM に関する調整を工場出荷時の設定に初期化します。

同期設定

「同期設定」は映像を表示するための同期信号に対して調整を行う機能です。同期信号は映像を表示するための重要なタイミング信号です。しかし、なんらかの原因で同期信号が正常ではない状態 (本

機が想定している基準信号と微妙に異なる場合) のとき、微調整によって映りやすくする機能です。

※「同期設定」は特殊な機能であるため、必要の無いときは操作しないでください。むやみに設定を変更すると、画面が乱れたり、表示されなくなる場合があります。

■同期モード

映像信号の入力と出力の同期を選択できます（映像の遅延とは必ずしも関係ありません）。通常は「自動」で使用してください。

映像信号が同期していると、映像のフレーム飛びや欠落が無く、スムーズな画面スクロール（パン）が可能です。映像信号が同期していないと、フレーム飛びや欠落が発生し、スムーズな画面スクロール（パン）がガタついたりしますが安定した表示が可能です。

[オフ]：入出力を同期しません。強制的に出力同期で映像を表示します。映像規格から外れた信号を出力する機器で画面が映らない場合に選択します。

[自動]：入力信号に同期可能な信号は、同期して映像を出力します。通常は「自動」に設定してください。

※リモコンの「セーフティー」ボタンを押すと「同期モード」が強制的に「オフ」になるため、「セーフティー」機能使用後は設定を「自動」に戻すことをお勧めします。

■同期 TIME

映像の同期信号が途切れてから、本機が「同期信号が途切れた！」と認識するまでの時間を変更できます。本機は映像信号が途切れると、映像が暗転してしばらく表示されません（テレビの機種によっては2～3秒表示されないこともあります）。本機能は、映像の途切れの認識を遅らせて、これらの暗転を軽減します。ただし、設定を変更しても効果がない場合もありますので、ご了承ください。

■同期 LEVEL

古いゲーム機などで同期信号が、機器や部品の劣化によって認識しづらい状態の時、受信する同期信号のレベルを変えて、映りやすくする機能です。ただし、この機能は万能ではありません。

また、接続する機器の種類によって信号レベルが異なることがあり、機種を変更した場合（機器の接続を変えた場合）それぞれの機器ごとに設定を再調整する必要があります。工場出荷時の設定値は「9」です。

■水平同期 REV

水平同期信号の極性（Polarity）を反転する機能です。

[オフ]：標準の設定です。

[オン]：極性を反転します。

■垂直同期 REV

垂直同期信号の極性（Polarity）を反転する機能です。

[オフ]：標準の設定です。

[オン]：極性を反転します。

HDMI 設定

HDMI に関する設定を行う機能です。

■ DeepColor (ディープ・カラー)

HDMI 端子付きのテレビに表示した場合で、テレビが DeepColor に対応している場合に使用します。通常は「オフ」でご利用ください。

[オフ] : DeepColor を使用しません。DVI 端子に接続している場合や、HDMI でも DeepColor に対応していない表示装置に接続している場合は「オフ」で使用します。

[自動] : DeepColor に対応した表示装置に接続されている場合は、DeepColor で動作します。対応していない場合は「オフ」で動作します。ただし、「自動」は正しく DeepColor の対応機器を認識できない場合もあるのでご注意ください。自動で認識できない場合は画面の表示がおかしくなるか、映像が全く表示されなくなる場合があります。

※ 画面が表示されなくなってしまった場合はリモコンの、セーフティー・ボタンを2秒以上押すことで、DeepColor 等の設定を「オフ」に戻すことができます（詳しくは51ページ参照）。

■ OUTPUT_COLOR (出力カラー)

本機から出力される映像のカラーモードを選択できます。

通常は「自動」で使用することをお勧めします。

[RGB] : 出力のカラーモードを「RGB」固定にします。画面がピンク色になるなどの症状が発生するときに選択します。

[自動] : 出力のカラーモードを「RGB」または「Y、PB、PR (Y、CB、CR)」の自動選択にします。

※ 本設定は「HDMI 出力モード」使用時のみ効果があります。

※ OUTPUT_COLOR の設定を変更した後は、必ず本機を再起動してください。再起動しないと設定が反映されません。

■ OUTPUT_RANGE (出力レンジ)

HDMI 信号の「リミテッド」仕様の階調を持つテレビに対応するための機能です。

[標準] : 標準の階調モードです。例えば白から黒への階調表現があるとき、全ての階調（フルレンジ）で表示します。

[LIMITED] : リミテッド規格の階調表現に対応したテレビに接続する際に選択してください。

■ HDMI_DIRECT 1 (HDMI ダイレクト 1)

HDMI 入力 1 の信号をできるだけ元の映像に近い状態（セレクターのようにスルー）で出力する機能です。

[オフ]：標準の設定です。HDMI 映像も他のアナログ入力のように画面調整などを加えたいときは「オフ」で使用します。

[オン]：元の HDMI 映像に手を加えずそのまま利用したいときは「オン」に設定してください。画面調整などは行えません。セレクターのように HDMI 信号を切替えて使用したいときに利用します。

■ HDMI_DIRECT 2 (HDMI ダイレクト 2)

HDMI 入力 2 の信号をできるだけ元の映像に近い状態（セレクターのようにスルー）で出力する機能です。

[オフ]：標準の設定です。HDMI 映像も他のアナログ入力のように画面調整などを加えたいときは「オフ」で使用します。

[オン]：元の HDMI 映像に手を加えずそのまま利用したいときは「オン」に設定してください。画面調整などは行えません。セレクターのように HDMI 信号を切替えて使用したいときに利用します。

■ EDID オプション

通常は「自動」の設定でご利用下さい。表示が安定しないなどの場合、本設定を変更してください。設定変更後は必ず再起動が必要です。

[自動]：HDMI 端子付きの表示装置や HDCP 対応のディスプレイで、特に表示に問題がないときは「自動」でご利用ください。なお、HDCP 未対応の DVI 端子付きのディスプレイなどに接続している場合は必ず「自動」設定にしてください。

[HDMI]：本機の入力チャンネルを操作したり、入力信号に変化があった後で映像が乱れたり、表示されなくなる、音声しか出力されなくなるなど、動作が安定しない症状が頻繁に発生する場合は設定を「HDMI」に設定してください。症状が改善される場合があります。

※ 設定を変更すると、映像がまったく表示されなくなることがあるのでご注意ください。

※ 本設定を変更しても「HDCP」に対応していない表示装置に「HDCP」が含まれる映像を表示させることはできません。本機能は HDCP に対応した表示装置で表示動作を安定させる機能です。

■ EDID_SELECT (EDID セレクト)

本機のHDMI入力映像のEDID情報を選択できます。通常は「自動」です。HDMI入力を持つ表示装置を接続した際「自動」の設定で、どうしても映像が表示できないときは、「INTERNAL」に設定してください。また、1080i や 720p までしか表示できない HDMI 端子付きの表示装置に 1080p 映像を表示したいとき「INTERNAL」を選択します。設定変更後は本機と本機に接続されている HDMI 機器を必ず再起動してください。

[自動] : 標準の設定です。通常は「自動」でご利用ください。本機の HDMI 出力に接続されている表示装置の解像度の上限が使用されます。

[INTERNAL] : 本機に接続されている表示装置の解像度に関係なく HDMI 入力の上限を 1080p(60p) にします。

■ TV_HOTPLUG

本機の HDMI 出力に接続されている機器がホットプラグ未対応でも映像信号を強制的に出力する機能です。

[オフ] : ホットプラグを認識しません。

[オン] : ホットプラグを認識します (標準の設定)。

音声設定

音声に関する設定を行います。

■ 入力音量

入力されるアナログ音声のレベルを調整する機能です。

入力端子ごとにレベルを調整できます。機器の違いによる音声レベルを補正する機能としてご利用ください。

※ HDMI 入力時の調整はできません。

■ HDMI_1_AUDIO

入力チャンネルが「HDMI 1」の時、HDMI のデジタル音声を使用するか、D 入力端子の音声入力 (アナログ音声) を使用するかを選択する機能です。HDMI 信号に音声が含まれず、アナログでしか音声を出力していない機器を本機に接続する際に使用します。

[HDMI] : HDMI 1 のデジタル音声を使用します。

[D] : D 入力端子の音声入力 (アナログ音声) を使用します。

■ RGB_AUDIO

RGB 入力で使用できる音声信号を選択することができます。

[RGB] : RGB 入力の音声は RGB 端子から入力します。

[VIDEO] : RGB 入力の音声をビデオ /S 端子から入力します。

オプション

下記ではスクリーン・メニュー内の「オプション」の機能を解説します。

■ POWER (パワー)

電源の設定を選択することができます。

[STANDBY] : 本機に AC アダプターを接続したとき、待機状態になります。また、本体やリモコンの「電源 (POWER)」ボタンを使用して電源の「オン (入)」「スタンバイ (待機)」操作ができます。

[ON] : 本機に AC アダプターを接続したとき、常に電源が「オン (入)」になります。本体やリモコンの「電源 (POWER)」ボタンは使用できません。

※ 設定が [ON] の時はスクリーン・メニューの設定やチャンネル変更を記憶することができません。設定やチャンネル変更を記憶させたい場合は、一旦 [STANDBY] の設定に戻してください。

■ 自動表示

画面に自動で表示されるメッセージ (OSD) を表示しない様にする機能です。チャンネルを変更した時などに表示される画面のメッセージを表示しないようにします。

[オフ] : 自動のメッセージを表示しません。

[オン] : 自動のメッセージを表示します。

■ 静止

画面を静止 (フリーズ) させる機能です。

[オフ] : 画面を静止しません。または画面の静止を解除します。

[オン] : 画面を静止します。

※「静止」は、本機の操作を行うと、自動的に終了する場合があります。

■ バック

映像が入力されていないときの画面の色 (ブルーバック) を変更することができます。

[BLACK] : 画面の色を「黒」にします。

[BLUE] : 画面の色を「青」にします。

■ AV_MUTE (エーブイ・ミュート)

表示されている画面を真っ黒にして、音声の出力を一時的に停止させる機能です。

[オフ] : AV_MUTE を使用しません。

[オン] : AV_MUTE を使用します。

※ AV_MUTE は本機の操作を行うと、自動的に終了する場合があります。

■ LANGUAGE (ランゲージ)

スクリーン・メニューの言語を選ぶことができます。「JPN」は日本語で表示、「ENG」は英語で表示します。

SPECIAL : A/D 設定**■ MANUAL_A/D 調整 (マニュアル A/D 調整)**

「A/D 調整」で A/D レベルを調整するか、調整しないかを選択する機能です。

【オフ】: A/D を調整しない。標準設定を使用します。

【オン】: A/D を手動で調整する。「A/D 調整」で A/D レベルの調整が可能となります。

■ A/D 調整

手動で A/D レベルを調整します。アナログ映像でのみ使用できます。この機能は「MANUAL_A/D 調整」の設定が「オン」のときに使用できます。

※「A/D 調整」は明るさ調整機能ではありません。映像信号の振幅が基準よりも大きかったり、小さい場合に調整するための機能です。

■ CLAMP_MODE (クランプモード)

特殊な機器で、色信号を誤認識する際の対策として使用する機能です。弊社からの指示や指定があった機器でのみご利用ください。

【標準】: 一般的な映像信号に対応します。通常は「標準」です。

【特殊】: 映像信号の常識を無視した一部の特殊な機器で、色信号を誤認識してしまう場合に設定します。

SPECIAL : SCANLINE (スキャンライン)

スキャンラインは画面に横線を表示して、ブラウン管の低解像度映像で見られる走査線の隙間を擬似的に表現する機能です。

入出力の走査線数(垂直のピクセル数)の違いや画面の表示状態によって、疑似走査線を「INT_LINE」(整数で割りきれない方式)または「DEC_LINE1」+「DEC_LINE2」(整数で割りきれない方式)で表現するかを自動で選択します。その時点で利用されている方式のみ調整が可能です。

※スキャンラインは、液晶を用いた薄型テレビやディスプレイに存在しない走査線の隙間を計算式で無理矢理作り出す機能です。このため、綺麗に見えない場合があります。

■ SCANLINE (スキャンライン)

画質モードが「マイスター (MEISTER)」の時に表示される疑似走査線(スキャンライン)を、「マイスター (MEISTER)」以外の画質モードでも使用する機能です。

【オフ】: 「マイスター (MEISTER)」の時のみ疑似走査線を表示。

【オン】: 「マイスター (MEISTER)」以外の時も疑似走査線を表示。

■ INT_LINE (イントライン)

疑似走査線(スキャンライン)の黒い線の明るさレベルを調整する機能です。入力信号の走査線が整数で割り切れる場合に使用できます。

■ INT_SMOOTH (イントスムーズ)

INT_LINE で疑似走査線を表示した際、疑似走査線の黒い線とそれに隣接する画素の平均値を調整する機能です。ドット数に余裕がある場合はエッジを滑らかにできるため、疑似走査線に丸みを持たせることができます。

■ DEC_LINE1 (デックライン 1)

疑似走査線 (スキャンライン) の黒い線の明るさレベルを調整する機能です。入力信号の走査線が整数で割り切れない場合の疑似走査線 (スキャンライン) 1 の明るさレベルを調整できます。

■ DEC_LINE2 (デックライン 2)

疑似走査線 (スキャンライン) の黒い線の明るさレベルを調整する機能です。入力信号の走査線が整数で割り切れない場合の疑似走査線 (スキャンライン) 2 の明るさレベルを調整できます。

■ DEC_SMOOTH (デックスムース)

DEC_LINE で疑似走査線を表示した際、疑似走査線の黒い線とそれに隣接する画素の平均値を調整する機能です。ドット数に余裕がある場合はエッジを滑らかにできるため、疑似走査線に丸みを持たせることができます。

SPECIAL : CELLOPHANE (セロファン)

セロファンは特定の間隔で画面にカラーフィルターを表示する機能です。画面に表示されている特定の領域の画像の色 (黒以外の色) を変化させる機能です。

■ CELLOPHANE (セロファン)

セロファン機能をオン / オフする機能です。

[オフ] : セロファン機能を使用しません。

[H] : セロファンが水平方向が同じ色になるよう配置します。

[V] : セロファンが垂直方向が同じ色になるよう配置します。

※ 映像が未入力の時に使用にするとメニューや背景のブルーバックが変色します。また、未入力の時に POINT、WIDTH、COLOR を変更しても画面の変化は見えません。

■ POINT (ポイント)

セロファンは 8 つの領域を選択して色や範囲を指定することができます。調整したい場所の数値を選択してください。

画面の上から順に 0 ~ 7 となります。

■ WIDTH (ウィズ)

ポイントで設定した番号の領域の幅を指定できます。

■ COLOR (カラー)

ポイントで設定した番号の領域の色を指定できます。

「W (白:無色)」、「C (シアン)」、「M (マゼンダ)」、「B (青)」、「Y (黄)」、「G (緑)」、「R (赤)」から色を選択できます。

SPECIAL : DIVIDE_MODE (ディヴァイド・モード)

複数のフレームマイスターやテレビ、分配器を使用して画面を分割表示するための機能です。

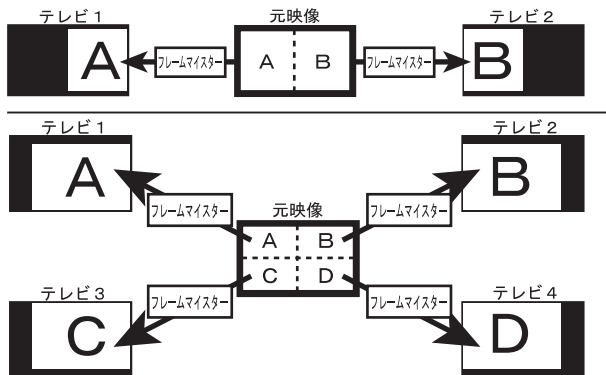
■ DIVIDE_MODE (ディヴァイド・モード)

分割する画面の数を設定することができます。2分割と4分割を選択可能です。

【オフ】：DIVIDE_MODE を使用しません。

【x2】：画面を2分割して表示する際に選択します。

【x4】：画面を4分割して表示する際に選択します。

**■ DIVIDE_ZOOMx2 (ディヴァイド・ズーム x2)**

画面を2分割する際に「A」、「B」どちらの領域を表示するか選択することができます。

■ DIVIDE_ZOOMx4 (ディヴァイド・ズーム x4)

画面を2分割する際に「A」、「B」、「C」、「D」どの領域を表示するか選択することができます。

SPECIAL : 特殊表示位置**■ 特殊表示位置**

映像を画面の右端、または左端に寄せて表示します。

設定には「A」、「B」、「C」、「D」が有りますが、「C」、「D」は拡張用であり、現在は「A」、「B」と同じ内容となります。

SPECIAL : CLASSIC_MODE (クラシック・モード)**■ CLASSIC_MODE (クラシック・モード)**

画面をブラウン管の様な雰囲気に表示するモードです。

「オフ (使用しない)」、「L1」、「L2」、「L3」から選択可能です。

SPECIAL : REVERSAL (リバーサル)**■ REVERSAL (リバーサル)**

画面に表示されている画像の色を反転する機能です。

DATA (データ)

スクリーン・メニューの設定をマイクロSDカードに保存したりロードする機能です。

■ LOAD_SELECT (ロード・セレクト)

ロードしたいチャンネルを指定することができます。

■ LOAD (ロード)

設定をすべてロードします。

■ SAVE (セーブ)

設定をセーブします。

■ SAVE_NEW (セーブ・ニュー)

新しいファイル名を追加して設定を保存します。

ファイル名は「EEPO01.BIN」、「EEPO02.BIN」の様に追加されます。

■ CPU_UPDATE (CPU アップデート)

この機能は開発者向けの機能です。現在使用しません。操作しないでください。弊社から指示があった場合のみ使用します。

■ EDID_GET (EDID ゲット)

この機能は開発者向けの機能です。現在使用しません。操作しないでください。弊社から指示があった場合のみ使用します。

■ RESET (リセット)

本機の設定を工場出荷時の状態に初期化します。

STATUS (ステータス)

映像や音声の解像度、製品に必要とされる情報を表示することができる機能です。

■ STATUS (ステータス)

現在表示されている映像の情報を表示します。

■ FULL_STATUS (フル・ステータス)

様々な情報を1～4ページにわたって表示します。ページは、リモコンの「◀」「▶」ボタンで変更することができます。

■ FIRM_VER (フル・ステータス)

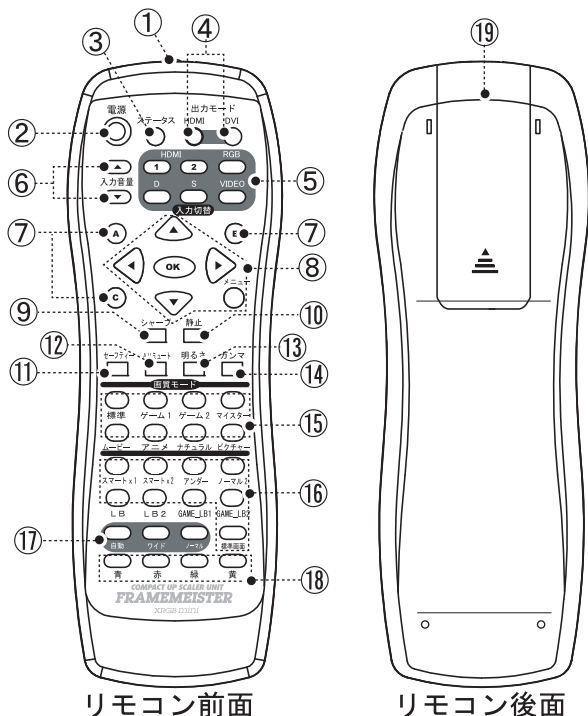
ファームウェアのバージョンを表示します。

■ PCB_VER (PCB バージョン)

本体基板のバージョンを表示します。ファームウェアがご利用の製品に最適な状態で動作するための情報として利用します。

リモコンの機能と操作

本機にはリモコンが同梱されており、お手元で本機の入力チャンネルや設定機能などを操作できます。



リモコン前面

リモコン後面

①赤外線発信部

リモコンの信号を発信する部分です。

この部分を本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

②電源ボタン

本体の電源を操作するボタンです。本体の電源が「スタンバイ(待機)」の時に押すと、電源を「オン(入)」にすることができます。

本体の電源が「オン(入)」の時に押すと、電源を「スタンバイ(待機)」にすることができます。なお、スクリーン・メニューの「POWER」の設定が「オン」の時は、このボタンを押しても電源を「スタンバイ(待機)」にすることはできません。

※電源ボタンは間違った動作を防ぐため、ボタンを少し長めに押す仕様になっています。

③ステータス・ボタン

画面に現在の状態（現在使用している入力チャンネル、入力解像度、出力解像度、出力同機、音声信号の方式）を画面に表示します。

④出力モード・ボタン（HDMI ボタン、DVI ボタン）

出力モードを「HDMI モード」、または「DVI モード」に切替えるボタンです。

本機を HDMI 端子付きの表示装置に接続しているときは「HDMI」のボタンを押してください。このボタンを押すことで本機を「HDMI モード」にすることができます。すでに「HDMI モード」のときに、このボタンを押すと、「解像度一覧」を表示可能です。

本機を DVI 端子付きの表示装置に接続しているときは「DVI」のボタンを押してください。このボタンを押すことで本機を「DVI モード」にすることができます。すでに「DVI モード」のときに、このボタンを押すと、「解像度一覧」を表示可能です。

「HDMI モード」と「DVI モード」は一度設定するとメモリーに記憶されますので、これらのボタンは初めて本機を接続されたときや、テレビやディスプレイの接続を変更したときに操作します。

- HDMI ボタン=> HDMI 端子付きテレビの時に操作
- DVI ボタン => DVI 端子付きディスプレイの時に操作

※このボタンの操作を間違えると、画面が変色する（ピンクや緑色になる）、または映らない、といった症状が発生しますのでご注意ください。

※本機を「DVI モード」で使用するときは、必ず「DeepColor」の設定を「オフ」にしてください。「DeepColor」の設定が「自動」に設定されていると、画面が変色するなど、表示がおかしくなります。

⑤入力切替ボタン（ビデオ、S、D、RGB、HDMI 1 / 2）

「入力切替」の各ボタンを押すことで、入力チャンネルを選択することができます。

[ビデオ]：ビデオ入力端子を選択します。

※音声はSビデオ入力と共通です。

[S]：S 入力端子を選択します。

※音声はビデオ入力と共通です。

[D]：D 入力端子を選択します。

[RGB]：RGB 入力端子を選択します。

[HDMI 1]：HDMI 1 の入力端子を選択します。

[HDMI 2]：HDMI 2 の入力端子を選択します。

⑥入力音量ボタン (▲、▼)

アナログ音声（ビデオ /S 入力、D 端子入力、RGB 入力）の入力音声の音量を調整することができます。機器によって異なる音量をできるだけ統一したいとき使用します。

[▲] ボタン：音量を大きくします。

[▼] ボタン：音量を小さくします。

※ HDMI 入力時の音量は調整できません。

⑦特殊ボタン

[A ボタン]：このボタンを押すと、スクリーンの設定が「x1」となり、画質モードが「MEISTER」に設定されます。

[B ボタン]：このボタンを押すと、スクリーンの設定が「x2」となり、画質モードが「MEISTER」に設定されます。

[C ボタン]：このボタンを押すと、「SCANLINE」の機能を画面に表示します。

⑧メニュー操作ボタン (メニュー、▲、◀、▼、▶、OK)

スクリーン・メニューを操作するためのボタンです。

[メニュー]：画面にスクリーン・メニューを表示したり、終了したりするためのボタンです。深い階層のスクリーン・メニューが表示されているときは上の階層に戻ることができます。また、操作中の設定内容をキャンセルするボタンとしても使用できます。

※リモコンの各ボタンからダイレクトで表示されるメニューの設定内容はキャンセルできません。

[▲]：メニュー上のカーソルを上方向に操作することができます。

[◀]：各設定項目のカーソルや調整バーを左方向に操作することができます。

[▼]：メニュー上のカーソルを下方向に操作することができます。

[▶]：各設定項目のカーソルや調整バーを右方向に操作することができます。

[OK]：メニュー上の項目を選択したり、各設定内容を決定するボタンです。下の階層にメニューがある場合は、下の階層を表示します。

⑨シャープ・ボタン

画面の鮮明度を調整する機能です。このボタンを押すと画面に「SHARPNESS」という調整バーが表示されますのでカーソル・ボタン「◀」、「▶」を使用して、鮮明度を調整してください。

⑩静止ボタン

画面を静止（フリーズ）させるボタンです。このボタンを押すと、画面を静止させることができます。

もう一度このボタンを押すと静止を解除することができます。

⑪セーフティー・ボタン

万一画面が映らなくなってしまったときに、このボタンを「長押し（2秒程度）」することで、本機の出力モードや解像度を初期状態に戻し、映りやすくします。

※リセットではありません。

解像度 : HDMIモードの時:「480p」になります。
DVIモードの時 :「1024 × 768」になります。

DeepColor :「オフ」になります。

同期モード :「オフ」になります。

※快適なゲームプレイのため、「同期モード」は、「自動」に戻してください。

⑫AV ミュート・ボタン

映像と音声を一時的に出力しないようにします。音声は出力されず、画面は「真っ黒」になります。

このボタンを押すと、画面に「AV_MUTE（キャンセル/OK）」が表示されますので、「OK」を選択すると、AV ミュート機能が働きます。

もう一度このボタンを押して「キャンセル」を選択するとAV ミュートを解除することができます。なお、映像が入力されていないときは使用しても機能しません。

⑬明るさ調整ボタン

画面の明るさを調整する機能です。このボタンを押すと画面に「BRIGHTNESS」という調整バーが表示されますので、カーソル・ボタン「◀」、「▶」を使用して、明るさのレベルを調整してください。

⑭ガンマ調整ボタン

画面のガンマを調整する機能です。ガンマとは、画面の暗い部分を明るく調整する機能です。

このボタンを押すと画面に「GAMMA」という調整バーが表示されますので、カーソル・ボタン「◀」、「▶」を使用して、ガンマのレベルを調整してください。

⑮画質モード・ボタン

映像の質感や色合いを選択することができます。接続している機器やコンテンツに合わせて使い分けてください。

各機能の詳細については、スクリーン・メニューの「画質モード」（30～31ページ）をご覧ください。

- 標準** : 30 ページ参照
- ゲーム 1** : 30 ページ参照（「GAME_1」と同じ機能です）
- ゲーム 2** : 30 ページ参照（「GAME_2」と同じ機能です）
- マイスター** : 30 ページ参照（「MEISTER」と同じ機能です）
- ムービー** : 30 ページ参照（「MOVIE」と同じ機能です）
- アニメ** : 30 ページ参照（「ANIME」と同じ機能です）
- ナチュラル** : 31 ページ参照（「NATURAL」と同じ機能です）
- ピクチャー** : 31 ページ参照（「PICTURE」と同じ機能です）

⑩スクリーン・ボタン

スクリーン・ボタンは、映像コンテンツに合わせて、表示状態を変更する機能（アスペクトとは異なる機能）です。表示する映像や機器に合わせて使用してください。入力端子別に設定が可能です（ビデオとSは共通）。各機能の詳細についてはスクリーン・メニューの「スクリーン（32～34ページ）」をご覧ください。

スマート x1	: 33 ページ参照	（「SMARTx1」と同じ機能です）
スマート x2	: 33 ページ参照	（「SMARTx2」と同じ機能です）
アンダー	: 34 ページ参照	（「UNDER」と同じ機能です）
ノーマル 2	: 34 ページ参照	（「NORMAL2」と同じ機能です）
LB	: 32 ページ参照	
LB2	: 33 ページ参照	
GAME_LB1	: 33 ページ参照	
GAME_LB2	: 33 ページ参照	
標準画面	: 32 ページ参照	

※「標準画面」のボタンを押すことで、スクリーンの表示を終了することができます。

⑪アスペクト・ボタン

画面の比率を選択する機能です。

【自動】 : 映像信号に含まれるアスペクト（ワイド/ノーマル）の識別信号を認識して画面の比率を自動で認識します。ビデオ、S、D端子の場合はVBI信号、HDMIの場合は信号に含まれるアスペクトの識別情報を見て判断します。機器や信号によっては自動で識別できない場合もあります。

【ワイド】 : 画面のアスペクトを強制的にワイド（16：9）に設定します。

【ノーマル】 : 画面のアスペクトを強制的にノーマル（4：3）に設定します。

⑫青・赤・緑・黄ボタン

【青】 : **ズーム・リセット (ZOOM_RESET)**

ズーム・サイズ（拡大率）と表示位置を標準に戻します。

【赤】 : **ズーム・オーバースキャン (ZOOM_OVERSCAN)**

ズーム表示のときの表示範囲（表示領域）を調整するボタンです。調整はカーソル・ボタンで行ってください。

なお、調整バーの操作中は画面は変化しません。操作が終わってから画面が変化します。

【緑】 : **ズーム・サイズ (ZOOM_SIZE)**

ズーム表示の時の画面の拡大率を操作するボタンです。

調整はカーソル・ボタンで行ってください。

なお、調整バーの操作中は画面は変化しません。操作が終わってから画面が変化します。

【黄】 : **ズーム (ZOOM)**

画面のズーム表示（拡大表示）をオン/オフするボタンです。

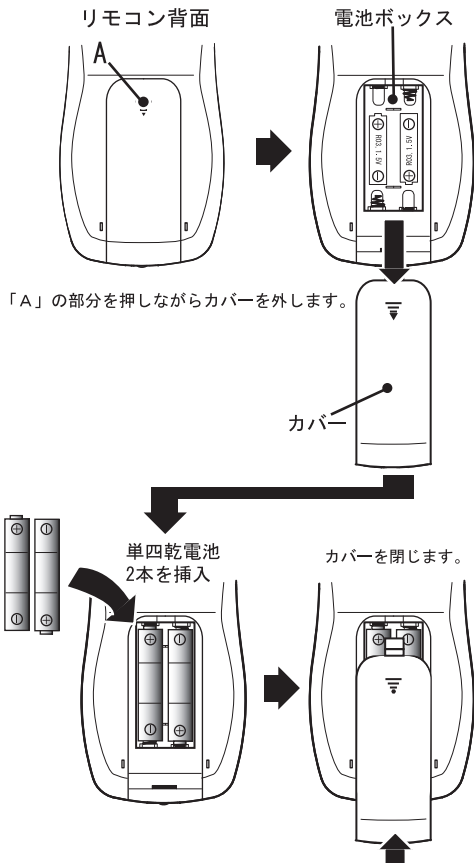
⑱ 電池ボックス

乾電池を入れる部分です。単4型乾電池（マンガン、またはアルカリ）2本を挿入することができます。

挿入時、乾電池の極性（+、-）を間違えないようご注意ください。乾電池の挿入方法は下記を参照してください。

はじめてリモコンを使用するとき

初めてリモコンを使用するときは、リモコンに電池を挿入し、利用できる状態にしてください。



※使用済みの乾電池は正しく処分してください。

※乾電池は、お子様の誤飲にご注意ください。リモコンや乾電池はお子様の手の届かない場所に保管してください。小さなお子様がいらっしゃる方は特に注意が必要です。

※乾電池の極性（+、-）は間違えないよう挿入してください。

※対応する乾電池はアルカリ乾電池、またはマンガン乾電池の単4型です。

接続の際の制限事項（知っておきたいこと）

■ 入力切替えの操作をしたり、入力信号の解像度が変化する と画面が点滅したり、数秒間映像と音声途切れてしまう

本機では、入力チャンネルが切り替わったり、解像度が変更されると、映像信号が途切れるため、本機とテレビがそれらの動作に反応し、映像が点滅したり音声が途切れるなどの症状が発生します。接続している機器の機種や種類によっては、数秒間画面が表示されない場合があります。

■ HDMI ケーブル接続時にできるだけしない方がよいこと

HDMI ケーブルで機器を接続しているときは、各機器が「電源オン（入）」の時に HDMI ケーブルを挿抜しないようにしてください。

ケーブルを挿抜してしまった場合は、映像や音声が正しく出力されなかったり、解像度情報を認識しないことがあります。この様な症状が発生したときは、本機や接続している機器の電源を一旦再起動する必要があります。

HDMI にはホットプラグという機構が内蔵されており、起動時に挿抜しても動作や安全性に問題はありますが、機器の安定動作のため、ケーブルの挿抜は各機器の「電源をオフ（切）」にしてから行うことを推奨します。なお、やむをえず本機の電源を切らずに HDMI ケーブルを挿抜した場合は、本機や接続した機器を再起動するなどして、映像や音声の解像度情報（EDID 情報）を再認識させる様にしてください。

■ 「スクリーン」の各機能に対応しない解像度

「スクリーン」の各機能は、映像入力の解像度がビデオ解像度（240p, 480i, 480p, 720p, 1080i, 1080p）でご利用いただく機能です。

このため、HDMI 入力端子からパソコン解像度（例えば 1024 × 768 ドットなど）の映像を入力した際、正常に表示できないことがあります。

また、入力映像が 1080p の時は、スクリーンの特定の機能を使用できません。

■ 映像の遅延に関して本機には低遅延で映像を処理するスケーラーが内蔵されております。しかし下記の場合、映像が1～数フレーム遅延する場合があります、本機の特長である低遅延の効果を期待できない場合があります。

- 1: 本機への入力インターレース（480i/1080i）で、「画質モード」が3D動き適応型I/P変換を利用しているモード（標準、MOVIE、ANIME、NATURAL）の場合は、映像の動き補正処理のため、前後のフレームを比較するため、1フレーム程度の遅延が発生します。
- 2: 本機からの出力がインターレース（1080i）の場合（59ページ参照）。
- 3: 上記、「1」と「2」を組み合わせた動作の場合。
- 4: 24p映像を60pや60iに変換した場合。
- 5: 入力信号と出力信号が同期（V_LOCK）できない場合。
- 6: 本機の「同期モード」の設定が「オフ」の場合。
- 7: 特殊な同期タイミングの映像信号を入力したとき。
- 8: 表示装置の映像処理に遅延がある場合。

遅延の状態は、スクリーン・メニューの「STATUS」-「FULL_STATUS」の3ページ目（DELAY）で確認できます。ただし、これらの数値はあくまで目安です。

■ 特定の映像を表示すると画面がピンク色になる

テレビやディスプレイの機種によっては、本機の入力を切替えたり、出力解像度を変更した際に、画面がピンク色になることがあります。

これは、テレビやディスプレイとの相性と思われ、本機の出力モードが「HDMI」のときに発生します。

この問題を改善するには、本機のスクリーン・メニューの設定を変更してください。

「HDMI設定」-「OUTPUT_COLOR」の設定を「RGB」に変更することで症状を改善可能です。なお、「OUTPUT_COLOR」の設定を変更した後は、必ず接続している機器やテレビ、本機を再起動してください。

■ 画面上部に歪みが発生する機器があります

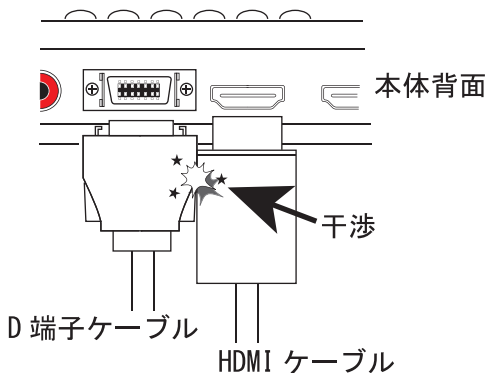
旧型のゲーム機（オールドゲーム機：例えばAVファミコンなど）の映像信号を入力すると、画面上部が歪む場合があります。

これは、本機が基準としているNTSC信号の信号タイミングと若干異なるため発生すると思われ、本機ではこれらの歪みを改善できない場合があります。

■ 端子の干渉

本機の「HDMI 入力 2」と「D 入力端子」は、非常に近接しておりますので、ケーブル側の端子形状によってはこれらの端子を同時に使用できない場合があります。

現在確認されている端子は Nintendo GameCube 用の「D 端子ケーブル」と、Nintendo Wii 用及び WiiU 用の「D 端子ケーブル」です。



■ 対応できない音声の解像度

本機では HDMI の音声をそのままスルーすることができますが、下記の音声フォーマットには対応しておりません。

- DSD や 1bit の音声
- 24bit の音声
- 88.2kHz ～ 192kHz などハイレゾの PCM 音声

■ 解像度が変わったり入力を切替えると音声にノイズが発生することがある

画面の解像度に変化があったり、入力を切替えると表示装置によっては、音量（ボリューム）が最低に設定されていてもスピーカーからノイズが出力されることがあります。

■ テレビとパソコン用ディスプレイの表示領域の違い

テレビの表示は一般的にオーバースキャン（画面の四隅の不要な部分は画面外にある）で、パソコン用のディスプレイはアンダースキャン（画面のすべての映像を表示する）です。これらの方式の違いにより、表示される映像の領域が異なります。

※家庭用テレビの機種によっては、アンダースキャンの表示機能を持っている場合があります。

■ 入力可能なパソコンの解像度

入力できるパソコン映像の解像度は、HDMI 規格のビデオ解像度（480p、720p、1080i、1080p）のみです。DVI-D 専用の解像度（パソコン専用の解像度）や、1920x1200 ドットなど 1920x1080 ドット（1080p）を越える解像度の映像は、正常に表示できないことがあります。

■ インターレース（480i）とノンインターレース（240p 疑似インターレース）の頻繁に入替わるゲーム映像に関して

旧型ゲーム機のゲームの中にはインターレース方式（480i）の映像とノンインターレース方式（240p）の表示が頻繁に切替わるゲームがあります（メガドライブ、サターン、プレステーション、プレステーション2などのゲーム）。

本機では、「インターレース→ノンインターレース」、または「ノンインターレース→インターレース」という映像の変化は解像度の変更とみなされるため、映像が一瞬途切れてしまい、しばらく画面が表示されないなどの症状が発生し、快適なゲームプレイができない場合があります。

これは本機内部の処理の時間に加え、HDMI での接続において、テレビ側が本機の映像、信号を認識するまで時間がかかるためです。

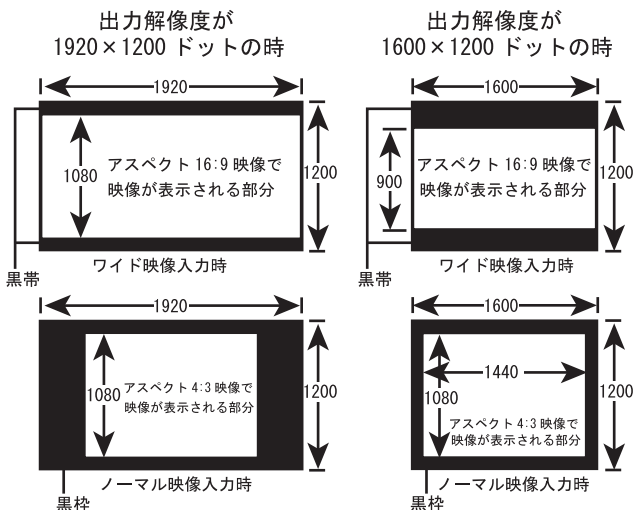
インターレースとノンインターレースの映像が頻繁に切替わるゲームや解像度が頻繁に変化する映像の入力はお勧めできません。

なお、画面が表示されるまでの時間は表示装置の機種によっても異なります（認識処理の遅い機種では2～3秒表示されないこともあります）。

なお、「同期設定」-「同期 TIME（39 ページ）」の設定を変更することで症状が若干改善される場合があります。

■ 1920x1200 ドット及び 1600x1200 ドット出力時の制限

仕様上の制限により、本機から出力可能な映像の垂直ドット数（ピクセル数）は 1080 までとなります。このため、本機の出力解像度が 1920 × 1200 ドットや 1600 × 1200 ドットの時は下図の様に表示されます。



備考：1920x1200 ドットや 1600x1200 ドットのパソコン映像を入力した場合も上記制限により画面がスケーリング（縮小）して表示されます。

■ CEC のリンク機能について

本機の HDMI 入出力端子は、CEC によるリンク機能に対応しています。本機では、HDMI の規格に沿った方式で CEC のリンク機能が動作します。

このため、「HDMI 入力 1」、「HDMI 入力 2」は CEC の制御機能を切替えるなどはできません。あくまで HDMI の規格内の制御でご利用いただくことになります。

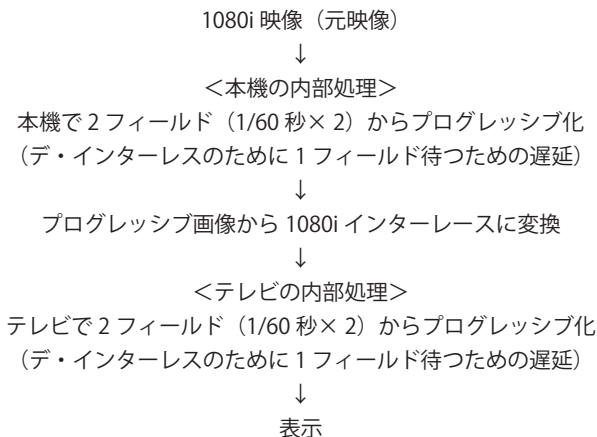
例えば、テレビのリンク機能进行操作すると、「HDMI 入力 1」、「HDMI 入力 2」が同時に制御されてしまう場合があります。

このため、お客様側でうまくリンク操作を工夫されるか、リンク制御したくない機器はリンク機能を「使用しない（「オフ」）」にしてください。

■ 1080i などインターレース映像が遅延しやすい理由

1080i などインターレースの映像は、表示されるまでの間に、下記のように何度も画像処理を経由するため、遅延しやすくなります。

各機器の映像処理で、1～2 フレーム程度遅延して行きます（あくまでも目安です）。



このため、本機の利用用途が主にゲーム映像の場合は、本機からの映像出力を（HDMI 出力モードの場合）、できるだけ1080i以外の解像度、「480p/720p/1080p」に設定し、プログレッシブ（ノンインターレース）で表示することをお勧めします。

また、本機の「画質モード」は、低遅延な「GAME1」、「GAME2」、「MEISTER」のご利用をお勧めします。

■ 表示装置の性能による遅延について

表示装置側の映像処理で発生する映像の遅延は本機では改善ができません。表示装置によってはゲーム向けの低遅延モードなどを備えた機種もありますので、ご利用の表示装置の取扱説明書をよくご覧になって、表示装置の映像処理を低遅延な設定（ゲーム専用の表示モードなど）でご利用いただくことお勧めします。

■ ゲーム機用の RGB ケーブルにご注意ください

端子形状が同じだからといって、そのゲーム機に対応していない RGB ケーブル（または間違った RGB ケーブル）を使用する事はおやめください。RGB 端子のピンの中には 5V の電源が出力されている物もあり、ケーブル内部の配線が異なる物を強引に接続すると、ショートや発熱が発生し、本機や大切なゲーム機が故障します。また、場合によっては接続したケーブルや機器が溶けたり、燃える恐れがあり、たいへん危険な状態になります。

- 各ゲーム機専用の RGB ケーブルを使用してください。
- ケーブルの改造や自作をされる方は十分な知識をもって、自己責任で正しく作成してください。弊社では、自作ケーブルに関するお問い合わせはお断りしております。回答いたしかねます。
- 他のゲーム機の RGB ケーブルを接続できるからといって強引に接続しないでください。ピンの配線が同じとは限りません。例えば NEOGEO 用、MSX 用、コントロールボックス用（アーケードゲーム）、などゲーム機側の端子は形状が同じ（8 ピン DIN 端子）でも、内部配線は異なります。映像が表示されていても音声の配線に違いがある場合もあります。
- PAL 用のピン配列の RGB ケーブル（スカート仕様の 21 ピン端子）を NTSC 配線の 21 ピン端子に接続しないでください。接続すると本機が故障するため接続は禁止です。

■ 改造されたゲーム機に関して

弊社では、元々 RGB 出力を持たないゲーム機に RGB 出力を追加するような改造（その他の改造も含む）を行ったゲーム機を接続して映像が正常に表示されなかったり、不具合やが発生した場合の動作保証やサポートはいたしません。また、お問い合わせいただきましてもお答えできませんのでご了承ください。

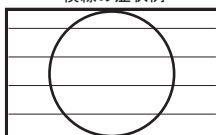
弊社がサポートする RGB 出力できるゲーム機は、ゲーム機メーカーが純正で RGB ケーブル（21 ピン RGB マルチ用のケーブル）を発売している機種に限らせて頂きます。

■ 画質モード「MEISTER」や「SCANLINE」機能による弊害

スクリーン・メニューの「画質モード」内の「MEISTER」や「SCANLINE」（リモコンの「A」、「B」、「C」ボタンを含む）で、画面に走査線（スキャンライン）を表示した場合、画面に一定間隔、または不規則に「横線」の様なものが表示される場合があります。

これらの横線の原因には下記のものがあります。

横線の症状例



- ・入力信号の走査線数や、出力解像度の走査線数が整数で割り切れない場合。
- ・本機でズーム機能を使用するなど画面の表示サイズが標準と違うとき。
- ・本機で垂直方向の幅を調整した場合。
- ・テレビやディスプレイのスケール処理が原因となっている場合。（テレビの機能で「画面サイズ」を変更した場合も含む）

このような症状は、画像処理によって走査線の隙間を擬似的に作り出しているためであり、本機能の仕様上発生してしまうものです。

異常な動作では有りませんのでご了承ください。本来、疑似走査線を綺麗に表示するには、出力のピクセル数が、入力に対して等倍である必要が有ります。

■ 端子の接触が悪くても「接点復活剤」を使用しないこと

長期間ケーブルの挿抜を行うなどして、端子が劣化した際、安易に市販の「接点復活剤」を端子に吹きかける方が居ます。

「接点復活剤」は絶対に使用しないでください。

接点復活剤は乾きません。いつまでも端子の中や基板面に入り込んで液体のまま残り続けます。導電物質ではないことが多いのでショートはしませんが、金属以外の樹脂部品などの劣化に至る場合があります。

特に、端子に向かってスプレー状の「接点復活剤」を噴霧された場合、製品内部の基板に広範囲に飛び散るため修理ができなくなったり、どのような故障に至るかも分かりかねます。また、仮に「接点復活剤」を使用しても効果は不明で、乾かないため端子接点の導電性が損なわれ、画質の劣化に至る場合もあります。修理ご依頼などで「接点復活剤」の噴霧が確認された場合、修理をお断りさせていただくことがあります。ご了承ください。

■ 古いゲーム機で映像が映らない。または画面が点滅する

ファミコン（AVファミコン）やスーパーファミコン、PCエンジン、メガドライブ、サターン、初代プレイステーションなどはご購入からかなりの時間が経過しており、中には販売終了後、すでに10～20年経過したものもあり、稼働期間も長期間であると思います。ゲーム機本体の外見が綺麗で、大事に扱っているつもりでも、ゲーム機内部の部品は年月と共に腐食・劣化し、機能が低下します。本機に関する部分としましては「映像信号、及び同期信号などの電解コンデンサーの劣化」や「端子の劣化や腐食」が原因で映像が正しく映らない場合があります。ゲーム機の故障や部品劣化は弊社では修理できないためご了承ください。

<寿命のある電子部品は必ず劣化する>

ゲーム機はデジタル処理で動作しているので、使用されている電子部品は寿命の長い半導体（IC）だけだと考えている方も多いでしょう。

しかし、ゲーム機はデジタル製品である前に電気製品であるため、様々な電子部品が実装されています。例えば電解コンデンサーです。

電解コンデンサーは、5～10年以上経過しますと、コンデンサー内部の液体が劣化したり効果を失うため、機能は必ず低下します（特に発熱する部品の周辺にあるコンデンサーは早く劣化する傾向があります）。電解コンデンサーはゲーム機内部だけでなく、ケーブルのハウジング内部に実装されている場合もあります。

例えば、映像回路の電解コンデンサーが劣化したり寿命が来ると、映像信号の本来の成分が変化してしまうため、画面のゆれ、点滅、ニジミ、最悪の場合は表示できなくなるなどといった症状が発生するなど、映像信号が不安定になる場合があります（初期症状は、ゲームの演出上画面が激しく点滅した際、映像が途切れてしまうなど）。

部品が劣化している場合は、当然ですがゲーム機やケーブルの修理が必要です。部品の劣化が必ずしも画面の不具合に繋がっているとは限りませんが、上記のような症状が発生した場合は念のためゲーム機の状態も確認する必要があります。なお、多少の部品の劣化であれば、本機のスクリーン・メニュー内の「同期 LEVEL」を調整することで、症状を軽減できる場合があります。

<端子の腐食や劣化が原因する場合>

端子の劣化も画面の乱れや映らないなどの原因となります。

「ケーブル端子のこじりによるケーブルの断線（GND配線の断線も含む）」、「何度も挿抜したことにより金メッキの傷や剥離、その後の長期保管で金属部が腐食」、「押し入れや倉庫での保存中に湿気で腐食」などがあります。接続ケーブルやゲーム機の端子（接点）は本来、

金色や銀色ですが、その部分が「黒っぽく」変色している場合は腐食や劣化と判断してください。表面が黒っぽく変色していると、いわばサビを挟んで電気信号を通电しているため、電気信号が伝わらなかったり、接触不良の原因となります。端子部を少し触っただけで画面にノイズが発生するなど、接触不良となる場合もあります。

黒っぽくなっている場合は洗浄や清掃が必要ですが、接触が悪いからと言って「接点復活剤」は絶対に使用しないでください。

■ プレーステーション 3/4、XBOX360、WiiU などの HDMI 映像が映らない

初めて HDMI 端子を持つゲーム機を本機の HDMI 入力端子に接続する場合、または以前にアナログ接続していた機器の接続を変えて HDMI 端子で接続する場合、ゲーム機から HDMI 信号が出力されません。これは本機の仕様上の動作であるため、不良や故障ではありません。下記の手順でゲーム機の HDMI 信号を出力可能な状態にしてください。

ゲーム機をテレビの HDMI 端子に直接接続した後、ゲーム機とテレビを起動してください。



この接続でテレビなどに画面が表示されたことを確認できたら、テレビとゲーム機の電源を一旦「オフ（切）」して、テレビとゲーム機を本機につなぎなおしてください。



本機、テレビ、ゲーム機を起動してください（本機の入力チャンネルは「HDMI1/2」に設定しておく必要が有ります）。

ファームウェアのアップデートに関して

本機には、発売された後の機能追加などに柔軟に対応するため、ファームウェアのアップデート機能が備わっています。最新のファームウェアは、必要に応じて弊社 Web ページにて公開いたします。

ファームウェア・アップデートの接続や手順に関しては、弊社 Web ページにてご確認ください。なお、お客様によるファームウェアのアップデートにてトラブルが発生した際は、有償修理になる場合がありますのでご了承ください。

仕様

■本体仕様

入力	ビデオ端子 (RCA 端子) NTSC/PAL 1Vp-p (75 Ω) 音声：アナログ音声 (ステレオ 2ch)
	S 端子 (4 ピン miniDIN 端子) NTSC/PAL Y 信号：1Vp-p (75 Ω) C 信号：バースト信号部で 0.286V (75 Ω) ※音声はビデオ端子と共用。
	D 端子 (MDR-14 ピン端子) NTSC/PAL コンポーネント・ビデオ Y 信号：1Vp-p PB 信号：0.7Vp-p (± 350mVp-p) PR 信号：0.7Vp-p (± 350mVp-p) 音声：アナログ音声 (ステレオ 2ch)
	RGB 端子 (8 ピン miniDIN)：21 ピン RGB マルチ アナログ RGB 信号：0.7Vp-p (75 Ω) 同期信号：複合同期 (C sync) 0.3Vp-p 負極性 水平同期周波数：15kHz (NTSC/PAL 相当) 垂直同期周波数：60Hz/50Hz 音声：アナログ音声 (ステレオ 2ch) ※ TTL デジタル RGB の入力には対応しません。 ※本端子は NTSC 日本仕様ピン配列専用です。PAL 仕様の端子 (スカート) はピン配列が異なるため、そのまま接続されますと本機が故障します。PAL 仕様の RGB ケーブルは絶対に接続しないでください。
	HDMI1/2 端子 (Type A) 19 ピン 端子数：2 系統 (HDMI HIGH SPEED 対応) ※ 1 TMDS 方式 (シングルリンク) HDCP 対応 表示装置が対応可能な場合は DeepColor (36bit [各 12bit]) に対応。 ※ 2 音声：デジタル音声パススルー ※ 3 ※映像の対応入力解像度は 66 ページ参照。 ※ HDMI 1 は設定の変更により D 端子の音声入力からアナログ音声を入力可能です。

出力	<p>19ピン・HDMI 端子 (Type A) 端子数：1 系統 (HDMI HIGH SPEED 対応) 信号帯域幅：225MHz (DVI 信号は RGB 方式で 162MHz まで) TMDS 方式 (シングルリンク) HDCP 対応 DeepColor (36bit[各 12bit]) に対応可能。 ※ 2 音声：デジタル音声パススルー ※ 3 アナログ音声は 48kHz に A/D 変換し、PCM 形式 で出力。 ※映像の出力解像度は 66 ページ参照。</p>
電源	<p>専用 AC アダプターにより供給 電圧：DC 5V 最大消費電流：2A 最大消費電力：10W</p>
本体寸法	<p>幅 193mm × 高さ 32.5mm × 奥行き 119mm (ボタン、コネクター、ゴム足の凸部を除く)</p>
重量	<p>本体：約 290g AC アダプター：約 120g ※重量は生産時期によって若干変わることがあります。</p>

※ 1：HDMI 1.3 相当の信号に対応。HDMI 1.4 規格の信号には対応いたしません。

※ 2：30bit (各 10bit) 及び 48bit (各 16bit) DeepColor の HDMI 信号には未対応です。

また、DVI 端子付きの機器に接続の際は、DeepColor は使用できません。

※ 3：対応できない音声モードがあります。詳しくは、56 ページをご覧ください。

■対応入力解像度

	HDMI	DVI-D	D 端子	アナログ RGB	S/ビデオ
240p(60p)/288p(50p)			○	○	○
480i(60i)/576i(50i)			○	○	○
480p(60p)/576p(50p)	○	○	○		
720p(60p/50p)	○	○	○		
1080i(60i/50i)	○		○		
1080p(60p/50p)	○	○	○		
1080p(24p)	○				

※ DVI-D でパソコンを接続する場合は、HDMI 互換の 480p/720p/1080p のビデオ解像度を持つ機種のみ対応可能です。その他の解像度は必ずしも表示できるとは限りません。

※ 出力解像度が 60p の時は、50p の映像を 60p に変換して出力します。出力解像度が 50p の時は 60p 映像を 50p に変換して出力します。

■対応出力解像度

	HDMI	DVI-D
480p (60p) / 576p (50p)	○	
720p (60p/50p)	○	
1080i (60i/50i)	○	
1080p (60p/50p)	○	
640x480 ドット (60Hz)		○
800x600 ドット (60Hz)		○
1024x768 ドット (60Hz)		○
1280x960 ドット (60Hz)		○
1280x1024 ドット (60Hz)		○
1600x1200 ドット (60Hz) ※ 4		○
1280x768 ドット (60Hz)		○
1280x800 ドット (60Hz)		○
1360x768 ドット (60Hz)		○
1440x900 ドット (60Hz)		○
1600x900 ドット (60Hz)		○
1680x1050 ドット (60Hz)		○
1920x1080 ドット (60Hz)		○
1920x1200 ドット (60Hz) ※ 4		○

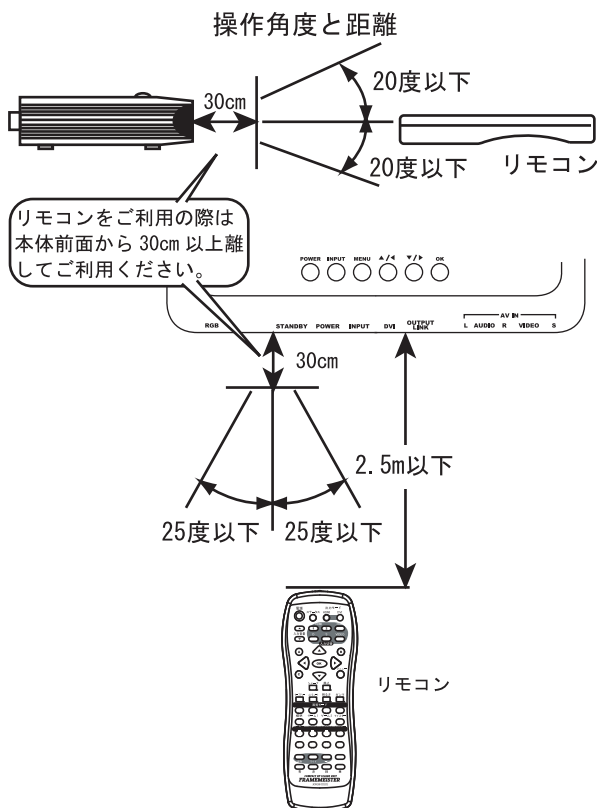
※ 4：表示領域に関して制限があります。

58 ページの「1920x1200 ドット及び 1600x1200 ドット出力時の制限」をご覧ください。

■リモコン仕様

通信方式	赤外線
電源	単4乾電池 1.5V × 2 (マンガン電池、アルカリ電池に対応)
寸法	幅 60mm × 高さ 175mm × 奥行き 24mm (ボタン凸部を除く)
重量	83g (電池を除く)

同梱のリモコンは、下記の角度と距離の範囲内でご利用いただけます。



※リモコンと本体の間に障害物無きこと。

※直射日光の当たる場所で使用すると正しく機能しないことがあります。

※リモコンは、人に向けて操作しないでください。

トラブルとQ&A

製品をご使用の際に問題が発生したときは、下記事項をご確認ください。また、製品に不具合が発生したときは、販売店様へお問い合わせをされる前に、まず弊社へお問い合わせいただき、本当に製品が故障・不良であるかどうか確認することをおすすめします。お問い合わせで解決する不具合もあります。

お問い合わせは、お電話または、弊社 Web ページの「お問い合わせフォーム」をご利用ください。

■ 「待機ランプ (STANDBY)」が点灯しない

AC アダプターを接続しても「待機ランプ (STANDBY)」が点灯しなかったり、本機の電源を「オン (入)」にしても「電源ランプ (POWER)」が点灯しないときは、AC アダプターを AC コンセントから取り外し、弊社へご連絡ください。この様な症状の場合、電源に関する何らかのトラブルが発生している恐れがあります。

■ 接続したが映像や音声が表示・出力されない

- ・ 本機の「入力」側に接続している機器の設定で HDMI 端子からの信号出力が「オン (入)」になっていますか？
機器によっては HDMI 端子からの映像や音声の出力設定が初期設定で「オフ (切)」になっている事があります。
- ・ 本機や表示装置を起動（電源「オン」）する前に「入力」側の機器を起動（電源「オン」）していませんか？ 入力側の映像機器を本機や表示装置（テレビなど）より先に起動すると、映像機器が映像を出力しないことがあります。
- ・ ケーブルなどは正しく接続されていますか？もう一度ご確認ください。特に HDMI 端子の入出力は間違えやすいのでご注意ください。
- ・ 本機に接続している機器を再起動してみてください。
- ・ 「出力モード」の設定は正しいですか？
- ・ 解像度の設定が間違っていると正しい表示ができません。リモコンの「セーフティー」ボタンを 2 秒以上押して、解像度を最も低い状態にしてください。

■ 古いゲーム機を接続したときだけ映像が乱れたり、映らない

市販のテレビなどでは正常に映っていても、ゲーム機内部の電子部品の劣化やケーブルの劣化によって、本機が正常に表示できない程、映像信号（電気信号の成分）が劣化している恐れがあります。詳しくは 62～63 ページを参照してください。

■ HDMI 信号を入力すると、テレビ画面に「対応していない音声信号が入力されています」などの警告メッセージが表示されてしまう

テレビに未対応のサラウンド音声が入力されるために発生する問題と思われます。本機の HDMI 入力端子に接続している機器を再起動し、音声の解像度を再認識（再設定）してみてください。

■ 本機の電源が「オン」の時 HDMI ケーブルを一旦取り外したら映像や音声が出なくなった

HDMI にはホットプラグという機能があり、機器の電源がオンの時にケーブルを挿抜しても良いという仕様になっていますが、機器の仕様によっては必ずしも正しく機器を認識して映像や音声が出力されるとは限りません（動作中のケーブル挿抜は、電気的な故障などに至る場合もあります）。HDMI ケーブルの挿抜は、各機器の電源が「オフ（AC アダプターが接続されていない状態）」または「スタンバイ（待機）」の状態で行ってください。

■ CEC によるリンク機能が希に動作しない

CEC によるリンク機能の操作は、機器の電源起動手順によっては、特定の機能が一時的に利用できなかつたり、動作しないことがあります。その様なときは、本機や接続している機器の起動の順番を変えるなどして、操作を試してください。

■ HDMI モードで出力解像度を「480p」に設定すると、画面の比率（アスペクト）がおかしくなるのですが？

本機の出力解像度が 480p の時、他の出力解像度と同様にワイド（16:9）のアスペクトとして出力しています。しかし、表示装置の中には 480p をノーマル（4:3）のアスペクトとして扱う機種があり、これらの表示装置では画面のアスペクトがおかしくなることがあります。この様な表示装置では、できるだけ 480p 以外の出力解像度（720p,1080i,1080p）でご利用いただくことをお勧めいたします。

■ 画面をもっと鮮明にしたい、または画面の質感を変更したい

スクリーン・メニューの「画面調整」内にある「AUTO_SCALER」の設定を変更してみてください。「ビデオ」に設定すると画面の質感が柔らかくなります。「ゲーム」に設定すると画面の質感がシャープになります。これらの設定で満足できない場合は、「オフ」に設定して、「H_SCALER」と「V_SCALER」の設定を変更し、好みの質感に調整してください。

- **表示装置に接続されている HDMI ケーブルを一旦取り外し、DVI 端子の表示装置に接続を変更したら（または、DVI 端子から HDMI 端子に接続を変えたら）映像や音声が出なくなった。または、画面の色がおかしくなった**

本機の出力端子に接続する端子の形状を変更するときは本機の「出力モード（HDMI または DVI）」を変更する必要があります。下記の手順で操作してください。

- 1、各機器の電源を「オフ（またはスタンバイ）」にする。
- 2、本機の HDMI 出力（HDMI ケーブル）を表示装置に接続する。
- 3、本機や各機器の電源を「オン」にする。
- 4、本機のリモコンの「出力モード」のボタンを押して出力モードを変更する。

**表示装置の接続端子を「HDMI」から「DVI」に変更する
→「DVI」ボタンを押します。**

**表示装置の接続端子を「DVI」から「HDMI」に変更する
→「HDMI」ボタンを押します。**

- 5、画面になんらかの映像（ブルーバック映像）が表示されたら、リモコンなどでスクリーン・メニューを表示し、「DVI 出力モード」または、「HDMI 出力モード」からご利用の表示装置に最適な解像度を選択して設定してください。

※正しく画面が表示されない場合は、リモコンの「セーフティー」ボタンを2秒以上押してください。出力解像度を最低にするなどし、映像を映りやすくします。

※画面がピンク色になるなどの症状が発生する場合は、スクリーン・メニューの「オプション」-「OUTPUT_COLOR」の設定を「RGB」に変更した後、本機を再起動してください。

- **PlayStation3 を HDMI で接続している時、DVD や Blu-ray を再生すると画面がピンク色になったり緑色になってしまいます**

ビデオ映像の再生時のカラー設定（BD/DVD 映像出力フォーマット）を「RGB」または「Y,PB (Cb),PR (Cr)」固定の設定にしていますか？ PlayStation3 側のカラー設定は「自動」にしてください。

また、PlayStation3 の「ディスプレイ設定」を再設定することで改善される場合があります。

※症状が改善しない場合は、スクリーン・メニューの「オプション」-「OUTPUT_COLOR」の設定を「RGB」に変更した後、本機を再起動してみてください。

■ ビデオ入力端子や S ビデオ入力端子、D 入力端子を使用すると、画面がピンク色になることがある（または必ずピンク色になる）

使用しているテレビやディスプレイ側が、HDMI の RGB モードと YUV (Y,Pb,Pr) モードを正しく識別できていない可能性があります。

55 ページの「特定の映像を表示すると画面がピンク色になる」を参考に、スクリーン・メニューの「OUTPUT_COLOR」を設定してください。

■ 出力リンク・ランプ (OUTPUT LINK) が点灯しない

・テレビ側の入力チャンネルの設定は正しいですか？

本機が接続されている表示装置側（テレビ側）の、外部入力のチャンネルが正しく設定されていないと、テレビによっては点灯しないことがあります。

・テレビの電源が「切（オフ）」または「待機（スタンバイ）」のときは点灯しません。

■ HDMI 映像を入力すると、画面に「HDCP Error」という文字が表示され映像が表示されない

映像信号に著作権保護が含まれ、なおかつご利用の表示装置などが著作権保護機能 (HDCP) に対応していない場合に表示されます。このメッセージが表示される場合、ご利用の表示装置などで映像や音声を出力することができません。

■ 「スクリーン」の各機能を使用すると、画面に「未対応画面（標準画面）」というメッセージが表示される

現在入力されている映像信号の解像度が高く（1080p など）、本機の処理能力では対応できない場合に表示されます。このメッセージが表示されるスクリーンの機能は使用できません。

■ テレビや DVD レコーダーの電源が勝手に「オン」になったり「オフ（スタンバイ）」になったりする

テレビや DVD レコーダーの CEC によるリンク機能で「連動電源」の設定が「有効（オン）」になっているためと思われます。

本機は CEC によるリンク機能に対応しておりますので、この端子に接続された機器と、本機の HDMI 入力端子（HDMI 入力 1 及び 2）に接続された機器は、CEC によるリンク機能が動作します。

■ メガドライブを RGB ケーブルで接続すると、表示できない映像やゲームがある

メガドライブを RGB ケーブルで接続した際にインターレース方式の映像が入力されると映像を正常に表示できません。

■ 以前はゲームの映像がなめらかに表示されていたのに、最近映像がガタついて表示されるように感じます

リモコンの「セーフティー」ボタンを使用した記憶はありませんか？「セーフティー」ボタンを使用すると「同期モード」が「オフ」になってしまい、画面がなめらかに表示されなくなる場合があります。

お手数ですが「同期モード」の設定を「自動」に設定してください。

■ 本機の入力チャンネルを操作したり、入力信号に変化があった後で、映像が乱れたり、表示されなくなる、音声しか出力されなくなる

HDMI 端子付きの表示装置や HDCP に対応した DVI 端子付きの表示装置で、表示の動作が安定しない症状が頻繁に発生する場合は、「SPECIAL」内にある「EDID オプション」の設定を「HDMI」に設定してください。症状が改善される場合があります。

なお、「EDID オプション」の設定を「HDMI」に変更すると、HDCP に対応していない DVI 端子付きの表示装置で映像がまったく表示されなくなるなどの症状が発生することがありますのでご注意ください。

「EDID オプション」に関しては 41 ページを参照してください。

■ HDMI 入力を持つ表示装置（テレビやディスプレイ）を接続した際、映像がまったく表示されない

本機と、ご利用の表示装置の相性である可能性があります。

スクリーン・メニューの「HDMI 設定」内の「EDID_SELECT」の設定を「INTERNAL」に設定してみてください。設定変更後は本機と本機に接続されている HDMI 機器を必ず再起動してください。

■ プレーステーション 3/4、XBOX360、WiiU などの HDMI 映像が映らない（HDMI ケーブルを接続した直後、何度ゲーム機を再起動しても映らない）

本機に初めて HDMI 端子を持つゲーム機を本機の HDMI 入力端子に接続する場合、または以前にアナログ接続していた機器の接続を変えて HDMI 端子で接続する場合、ゲーム機から HDMI 信号が出力されません。これは本機の仕様上の動作であるため、不良や故障ではありません。

恐れ入りますが 63 ページ「プレーステーション 3/4、XBOX360、WiiU などの HDMI 映像が映らない」に記載の手順でゲーム機の HDMI 信号を出力可能な状態にしてください。

■ 業務用機器（カメラモジュール、監視カメラ、超音波診断装置、書画カメラ）などの DVI 映像が正しく映らない

業務用の機器は、例えば対応解像度が 1080p 対応と記載されていても、標準的な HDMI や DVI の信号では無い（互換性が低い）場合があります。仮にピクセル数が 1920x1080 であったとしても、同期信号の信号波形やタイミングが微妙にことなる場合があります、正常に表示できない場合があります。これらの映像信号に関しては動作保証いたしかねます。

■ 画面に横線の様なものが表示される

画面にスキャンラインを表示すると、画面に一定間隔、または不規則に横線の様なものが表示される場合があります。

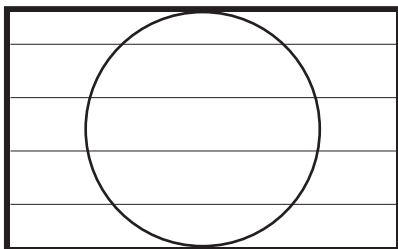
これは入力される映像の解像度や、出力する解像度の垂直方向のピクセル数（走査線数）の違いによって発生する場合があります。また、本機の画面の設定によって発生する場合があります。

これは、入出力のピクセル数が割り切れない場合に発生します。

仕様上の症状であるためご了解ください。

詳しくは 61 ページをご覧ください。

横線の症状例



これらのチェックでも原因が見つからなかった場合は、まず弊社にご連絡いただき、担当者の指示に従ってください。それでも問題が解決しなかった場合は、お手数ですが同梱の保証書に必要事項をご記入のうえ、商品と一緒に弊社までお送りください。

保証規定にそって無料で検査・修理いたします（修理をご依頼の際は、本体・AC アダプター、保証書などの同梱品を必ずお送りください）。ただし、保証書が無い場合や、保証期間を過ぎてからの修理、保証期間内であっても故障の原因がお客様の不注意によるものであった場合は、修理費の請求をさせていただきますので、あらかじめご了承ください。動作不良の症状や故障の状況に関しては、サポートシートなどに詳しくご記入いただき、修理ご依頼の際に同梱してお送りください。なお、修理にかかる時間は、場合によっては最長で2週間前後かかることがあります。

お答えできないお問い合わせ内容

下記の内容は弊社製品に直接関係無い案件であったり、弊社では対応いたしかねる内容であるためお問い合わせにならないでください。各自の工夫で解決を行ってください。

- HDMI ケーブルを含むケーブルの延長に関する質問
 - お客様がご利用の機器（ゲーム機など）の機能の質問
 - 改造して RGB 出力を行っているゲーム機などの質問
 - 対応していない機器との接続によるトラブルの解決方法
- 例：超音波診断装置、書画カメラ、アーケードゲーム機、監視カメラ、製造装置、パチンコの開発機器など一般的な映像規格に互換性の無い業務用機器でのトラブル

製品内容のご質問・修理のご依頼は下記までお願いいたします

〒541-0041 大阪市中央区北浜3丁目2番25号
 京阪淀屋橋ビル6階 電波新聞社・大阪本社内
 マイコンソフト株式会社
 TEL 06-6203-2827
 弊社ホームページ URL
<http://www.micomsoft.co.jp/>

弊社 Web ページの「サポート・フォーム（パソコン用）」からもお問い合わせ可能です。また、お問い合わせの多いご質問は、弊社 Web ページにて閲覧可能です。

修理ご依頼時の送付・梱包に関して

- 原則としてお客様から弊社へ製品をお送りになる際の送料はお客様のご負担にてお願いいたします。ただし、初期不良（初期不良期間：ご購入後2週間以内）の際の送料に関しましては、発送前にお電話などで弊社にお問い合わせください（事前のご連絡無しに送料着払いで製品を発送されることはご遠慮ください）。
なお、弊社から、お客様へ製品を発送する際の送料は弊社が負担させていただきます。
- 本機は精密機器です。発送の際は、お手数ですが「われもの」または「精密機器」として発送してください。また、発送時の梱包は、クッションで製品を包むなど、輸送時に衝撃が加わらないようご配慮ください。なお、輸送中の事故や衝撃による破損に関しましては、弊社は責任を負いません。
- 修理をご依頼の際は、必ず、「本体」と「ACアダプター」、「保証書」を一緒にお送りください。本体のみの送付や、ACアダプターのみの送付では、症状を確認できません。また、お手数でも用紙などに発生している症状や接続している機器（映像機器やテレビ等のメーカー名や型番）の詳細をご記入ください。

オークション品・中古品・リユース品・譲渡品に関して

オークション品、中古品、リユース品、譲渡品は、入手したばかりでも保証規定の対象となりません。オークション品、中古品、リユース品、譲渡品はいかなる場合も有償修理となるか、製品の状態によっては修理をお断りさせて頂くことがあります。弊社の保証規定は、お客様が販売店で新品をご購入頂いた場合、または弊社から直接ご購入頂いた場合にのみ有効です。オークション品、中古品、リユース品、譲渡品の修理を依頼する場合はその旨記載する様お願いいたします。

【個人情報保護法に関する記述】

保証書や製品サポート・シートに記入されたお客様の個人情報は、ご購入いただいた製品の保証・サポートに利用される物であり、それ以外の用途に利用されることはありません。なお、お客様の個人情報は、利用目的の達成に必要な範囲内においてその取り扱いの全部または一部を第三者に委託することがあります。第三者に委託する場合には、お客様の個人情報の適切な管理が図られるよう、委託先に対して必要かつ適切な監督を行います。

<商標に関する記述>

- HDMI、HDMI ロゴ及び High Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing,LLC の商標または、登録商標です。
- その他、本書に記載された商品名及び会社名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。
- 本文中では、TM(®)マークは基本的に明記していません

【画面が表示されなくなりました！】

なんらかの設定ミスや出力解像度の設定間違いによって、本機からの映像がまったく表示されず、操作できなくなってしまう場合は、下記の方法で復旧可能です。

- 解像度や設定を、映りやすい設定にする方法。

リモコンの「セーフティー」ボタンを2秒押す。

- 本体の設定を工場出荷時の設定に戻す（リセットする）。

本体の「メニュー・ボタン」と「OKボタン」を同時に押しながら AC アダプターを接続します。本体前面の4つの緑色のランプ（順番に点灯する）がすべて点灯し、ランプが消灯後にボタンから指を離します。これで工場出荷時の設定に初期化されます。その後、「電源ボタン」を押して本機の電源を「オン」にしてご利用ください。

※映像出力は 480p (60p) になります。

- 映像出力を強制的に 60p に設定して起動する。

本体がスタンバイ（待機）の状態、本体の「▲」ボタンを押しながら「電源ボタン（POWER）」を押して、電源を「オン」にします。

- 映像出力を強制的に 50p に設定して起動する。

本体がスタンバイ（待機）の状態、本体の「▼」ボタンを押しながら「電源ボタン（POWER）」を押して、電源を「オン」にします。

※ 50p はヨーロッパや PAL 方式の地域でご利用頂くための解像度です。映像出力を 50p に設定すると、日本国内で販売されている多くのテレビやディスプレイで映像の表示ができなくなりますのでご注意ください。

製品内容・トラブル・修理に関するお問い合わせ先

マイコンソフト株式会社

〒541-0041 大阪市中央区北浜3丁目2番25号

京阪淀屋橋ビル6階 電波新聞社・大阪本社内

TEL 06-6203-2827

弊社ホームページ URL

<http://www.micomsoft.co.jp/>